

未来を創造する建設産業

令和6年度

私たちの主張

熱い
想
い
!

届けよう建設産業への



応募期間

令和6年5月7日(火) ▶ 6月28日(金)

当日消印有効

主催／国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会

建設産業で働く皆さんへ

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会では、皆さんの建設産業への熱い想いを伝えていただくとともに、一般の人たちへ建設産業の役割や重要性について理解と関心を高めていただくために、建設産業で働く皆さんの主張を募集します。

1 募集対象	建設産業の仕事に従事している方
2 募集テーマ	建設産業にまつわる内容で、以下のテーマで作品を募集します。 ◎建設産業と地域のつながり 又は ◎伝えたい職人(プロ)のこだわり
3 応募作	・応募作は自作の未発表のものに限ります。AI（人工知能）により生成された文章を用いた応募はできません。 ・作品は本文1,600字～2,000字以内。 ・作品の冒頭には募集テーマとタイトルを付し、会社名・氏名を記入してください。 ・作品のタイトルは募集テーマとは異なるものにしてください。 ・パソコン等で作成した作品は、電子データでも提出可能[※]です。 ・用紙で提出する場合は、A4サイズ of 原稿用紙又は無地の紙を使用し、印刷又はコピーでも提出可能ですが片面印刷をお願いします。 ※団体・会社等を経由して応募する場合は、応募方法は団体・会社等の指示に従ってください。
4 応募期間	令和6年5月7日（火）～6月28日（金）（当日消印有効）
5 応募方法	用紙によるご応募の場合 必要事項を記入した応募用紙に作品を添え、応募先（裏面参照）又は建設産業人材確保・育成推進協議会（事務局：建設業振興基金）にお送りください。作品は折らないで同封してください。 ☑ 電子データによるご応募の場合 原則、特設サイトからダウンロードした応募フォーム（doc, docx, txt）のいずれかに必要事項を入力し、電子メールに添付のうえ送信してください。 🌐 WEBからのご応募の場合 特設サイトから応募サイトにアクセスいただき必要事項を入力し、ご応募ください。 電子データ又はWEBでご応募の場合 建設現場へGO! 検索 WEBサイト「建設現場へGO!」トップページ下に、作文コンクール特設サイトのバナーがごございますのでアクセスしてください。 ※団体・会社等で作品をとりまとめて提出いただく際の注意事項 用紙の作品には1作品ずつ応募用紙を添付してください。電子データの作品は応募書類を利用し1作品1ファイルとして、メールに添付して送信いただくか、CD-R等に格納してお送りください。
6 審査	国土交通省に設置する「優秀作選考委員会」において行います。
7 表彰及び発表	国土交通大臣賞 1名程度（賞状及び副賞） 国土交通省不動産・建設経済局長賞 2名程度（賞状） 優秀賞 5名程度（賞状） 入賞者は令和6年10月頃、国土交通省及び（一財）建設業振興基金HP等で公表します。国土交通大臣賞は、国土交通省において、令和6年10月に表彰を行い、同日に開催する令和6年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典にも参加いただく予定です。また、その他の入賞者については、地方整備局等において表彰を行う予定です。

※入賞作品は、（一財）建設業振興基金HPや機関紙、新聞等に掲載させていただくと共に、建設産業人材確保・育成推進協議会が実施する担い手確保・育成に関する事業において紹介させていただきます。ご応募によっていただきました個人情報、その運営に必要な範囲内で利用し、応募者の同意を得ずに利用目的を超えて利用することはありません。入賞作の権利は国土交通省に帰属し、応募作は返却致しません。

※大臣賞の受賞経験者は大臣賞候補からは除外させていただきます。

問合せ先

（一財）建設業振興基金 経営基盤整備支援センター「私たちの主張」係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階

TEL：03-5473-4572 MAIL：jinzai@kensetsu-kikin.or.jp

私たちの主張

応募用紙

⚠ 応募用紙記入上の注意

下記事項を記入の上、応募作品に添付して応募先（裏面参照）または事務局（建設業振興基金）にお送りください。

※団体・会社で応募する場合は、応募方法は所属の団体・会社の指示に従ってください。

募集テーマ (○を付けてください)		建設産業と地域の つながり		伝えたい職人（プロ）の こだわり
タイトル				
氏 名	(ふりがな)		本文の文字数	文字
年 齢	歳		性別 (○を付けてください)	男 女
自宅住所	〒			
電話番号				
メールアドレス				
所属する 都道府県建設業協会		所属（	建設業協会)	無所属
会社名				
会社住所	〒			
会社電話番号				
職 種	該当する職種に○を付けてください 施工管理・技能職・設計・積算・事務・営業・その他（			
建設産業における 勤続年数	年 か月			

この応募用紙を作品の表紙としてお使いください

団体名	郵便番号	所在地	TEL	協会等ホームページ
(一社) 北海道建設業協会	060-0004	札幌市中央区北4条西4-1	011-261-6184	http://www.doukenkyo.jp/
(一社) 青森県建設業協会	030-0803	青森市安方2-9-13	017-722-7611	http://www.aokenkyo.or.jp/
(一社) 岩手県建設業協会	020-0873	盛岡市松尾町17-9	019-653-6111	https://www.iwaken.or.jp/
(一社) 宮城県建設業協会	980-0824	仙台市青葉区支倉町2-48	022-262-2211	http://www.miyakenkyo.or.jp/
(一社) 秋田県建設業協会	010-0951	秋田市山王4-3-10	018-823-5495	http://a-kenkyo.or.jp/
(一社) 山形県建設業協会	990-0024	山形市あさひ町18-25	023-641-0328	http://www.agc-y.or.jp/
(一社) 福島県建設業協会	960-8061	福島市五月町4-25	024-521-0244	http://www.e-fukuken.or.jp/
(一社) 茨城県建設業協会	310-0062	水戸市大町3-1-22	029-221-5126	http://www.ibaken.or.jp/
(一社) 栃木県建設業協会	321-0933	宇都宮市築瀬町1958-1	028-639-2611	http://www.tochiken.or.jp/
(一社) 群馬県建設業協会	371-0846	前橋市元総社町2-5-3	027-252-1666	https://www.gun-ken.or.jp/
(一社) 埼玉県建設業協会	336-8515	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	048-861-5111	http://www.sk-k.or.jp/
(一社) 千葉県建設業協会	260-0024	千葉市中央区中央港1-13-1	043-246-7624	https://www.chikenkyo.or.jp/
(一社) 東京建設業協会	104-0032	中央区八丁堀2-5-1	03-3552-5656	http://www.token.or.jp/
(一社) 神奈川建設業協会	231-0011	横浜市中区太田町2-22	045-201-8451	https://www.shin-ken.or.jp/
(一社) 山梨県建設業協会	400-0031	甲府市丸の内1-13-7	055-235-4421	http://www.y-kenkyo.or.jp/
(一社) 新潟県建設業協会	950-0965	新潟市中央区新光町7-5	025-285-7111	https://www.shinkenkyo.or.jp/
(一社) 長野県建設業協会	380-0824	長野市南石堂町1230	026-228-7200	http://www.choken.or.jp/
(一社) 岐阜県建設業協会	500-8502	岐阜市藪田東1-2-2	058-273-3344	http://www.gikenkyo.jp/
(一社) 静岡県建設業協会	420-0851	静岡市葵区黒金町11-7	054-255-0234	https://www.sizkk-net.or.jp/
(一社) 愛知県建設業協会	460-0008	名古屋市中区栄3-28-21	052-242-4191	http://www.aikenkyo.or.jp/
(一社) 三重県建設業協会	514-0003	津市桜橋2-177-2	059-224-4116	https://www.miekenkyo.or.jp/
(一社) 富山県建設業協会	930-0094	富山市安住町3-14	076-432-5576	https://www.tomiken.or.jp/
(一社) 石川県建設業協会	921-8036	金沢市弥生2-1-23	076-242-1161	http://www.ishikenkyo.or.jp/
(一社) 福井県建設業協会	910-0854	福井市御幸3-10-15	0776-24-1184	http://www.fukui-pbcs.or.jp/
(一社) 滋賀県建設業協会	520-0801	大津市におの浜1-1-18	077-522-3232	http://yumeken.or.jp/
(一社) 京都府建設業協会	604-0944	京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645	075-231-4161	https://www.kyokenkyo.or.jp/
(一社) 大阪建設業協会	540-0031	大阪市中央区北浜東1-30	06-6941-4821	https://www.o-wave.or.jp/
(一社) 兵庫県建設業協会	651-2277	神戸市西区美賀多1-1-2	078-997-2300	https://hyokenkyo.or.jp/
(一社) 奈良県建設業協会	630-8241	奈良市高天町5-1	0742-22-3338	http://www.nakenkyo.or.jp/
(一社) 和歌山県建設業協会	640-8262	和歌山市湊通丁北1-1-8	073-436-5611	http://www.wakenkyo.or.jp/
(一社) 鳥取県建設業協会	680-0022	鳥取市西町2-310	0857-24-2281	https://www.tori-ken.or.jp/
(一社) 島根県建設業協会	690-0048	松江市西嫁島1-3-17	0852-21-9004	http://www.shimakenkyo.or.jp/
(一社) 岡山県建設業協会	700-0827	岡山市北区平和町5-10	086-225-4131	https://www.okakenkyo.jp/
(一社) 広島県建設業協会	730-0012	広島市中区上八丁堀8-23	082-511-1430	http://www.hirokenkyo.or.jp/
(一社) 山口県建設業協会	753-0074	山口市中央4-5-16	083-922-0857	http://www.yamaken.or.jp/
(一社) 香川県建設業協会	760-0026	高松市磨屋町6-4	087-851-7919	https://www.kaken-honbu.or.jp/
(一社) 徳島県建設業協会	770-0931	徳島市富田浜2-10	088-622-3113	https://www.tokuken.or.jp/
(一社) 愛媛県建設業協会	790-0002	松山市二番町4-4-4	089-943-5324	http://www.himekenkyo.or.jp/
(一社) 高知県建設業協会	780-0870	高知市本町4-2-15	088-822-6181	https://www.kokenkyo.or.jp/
(一社) 福岡県建設業協会	812-0013	福岡市博多区博多駅東3-14-18	092-477-6731	http://www.fukukenkyo.org/
(一社) 佐賀県建設業協会	840-0041	佐賀市城内2-2-37	0952-23-3117	https://www.sakenkyo.or.jp/
(一社) 長崎県建設業協会	850-0874	長崎市魚の町3-33	095-826-2285	http://www.ngsk-kenkyou.or.jp/
(一社) 熊本県建設業協会	862-0976	熊本市中央区九品寺4-6-4	096-366-5111	http://kumaken.or.jp/
(一社) 大分県建設業協会	870-0046	大分市荷揚町4-28	097-536-4800	http://www.oitakenkyo.or.jp/
(一社) 宮崎県建設業協会	880-0805	宮崎市橘通東2-9-19	0985-22-7171	http://www.miyazaki-kenkyo.or.jp/
(一社) 鹿児島県建設業協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町6-10	099-257-9211	http://kakenkyo.or.jp/
(一社) 沖縄県建設業協会	901-2131	浦添市牧港5-6-8	098-876-5211	http://www.okikenkyo.or.jp/
(一社) 全国建設産業団体連合会	105-0001	港区虎ノ門4-2-12	03-5473-1596	http://www.kensanren.or.jp/
(一社) 建設産業専門団体連合会	105-0001	港区虎ノ門4-2-12	03-5425-6805	http://www.kensenren.or.jp/

事務局

(一財) 建設業振興基金	105-0001	港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目 MT ビル2号館6階	03-5473-4572 メールアドレス	https://www.kensetsu-kikin.or.jp/ jinzai@kensetsu-kikin.or.jp
--------------	----------	----------------------------------	-------------------------	---



建設産業 への想い

令和6年度
高校生の

作文コンクール

応募期間

令和6年5月7日(火) ▶ 6月28日(金)

当日消印有効

主催／国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会

高校生の皆さんへ

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会では、建設産業の仕事をより身近なものに感じていただくために、高校生による作文コンクールを実施します。



①募集対象 高等学校の建築学科、土木学科等で学ぶ生徒

②募集テーマ 建設産業にまつわる内容で、以下のテーマで作品を募集します。
◎建設産業についての私の思い 又は ◎日々の学びと私の夢

③応募作

- ・応募作は自作の未発表のものに限ります。AI（人工知能）により生成された文章を用いた応募はできません。
- ・作品は本文1,000字～1,200字以内。
- ・作品の冒頭には募集テーマとタイトルを付し、学校名・氏名を記入してください。
- ・作品のタイトルは募集テーマとは異なるものにしてください。
- ・パソコン等で作成し、プリントアウトしての提出も可能です。
- ・作品を印刷する場合はA4サイズ、片面印刷をお願いします。

④応募期間 令和6年5月7日(火)～6月28日(金) (当日消印有効)

応募用紙及び代表作品リストに必要な事項を記入の上、建設産業人材確保・育成推進協議会（事務局：建設業振興基金）に郵送してください。作品は折らないで同封してください。応募用紙はWEBサイトからもダウンロードできます。

⑤応募方法 応募用紙のダウンロードはこちら

🔍 建設現場へ GO!

検索

WEBサイト「建設現場へGO!」トップページ下に、作文コンクール特設サイトのバナーがございますのでアクセスしてください。

⑥審査 国土交通省に設置する「優秀作選考委員会」において行います。

◎国土交通大臣賞…………… 1名程度（賞状及び副賞）
◎国土交通省不動産・建設経済局長賞…………… 2名程度（賞状）
◎優秀賞…………… 15名程度（賞状）

⑦表彰及び発表

入賞者は令和6年10月頃、国土交通省及び（一財）建設業振興基金HP等で公表します。国土交通大臣賞は、国土交通省において、令和6年10月頃に表彰を行い、同日に開催する令和6年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典にも参加いただく予定です。また、その他の入賞者については、地方整備局等において表彰を行う予定です。

※入賞作品は、（一財）建設業振興基金HPや機関紙、新聞等に掲載させていただくと共に、建設産業人材確保・育成推進協議会が実施する担い手確保・育成に関する事業において紹介させていただきます。応募用紙等に記載の個人情報は、その運営に必要な範囲内で利用し、応募者の同意を得ずに利用目的を超えて利用することはありません。入賞作の権利は国土交通省に帰属し、応募作は返却致しません。

※大臣賞の受賞経験者は大臣賞候補からは除外させていただきます。

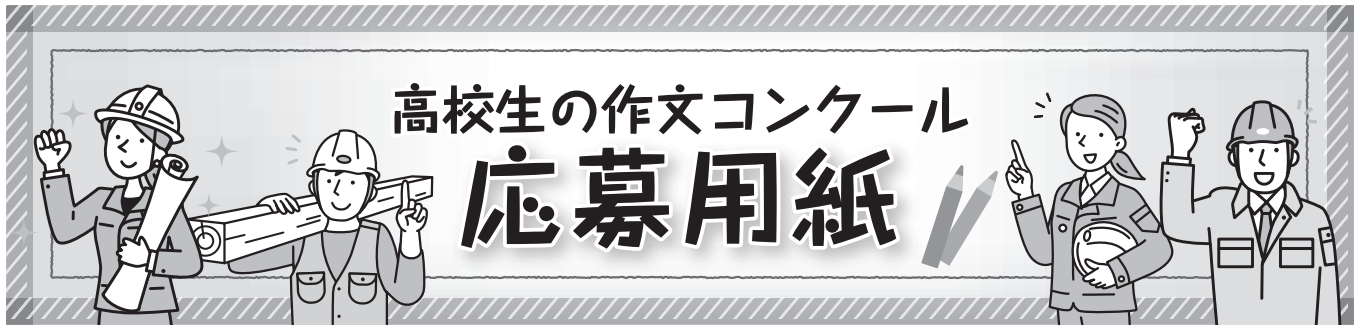
※作文の執筆にあたり、建設産業のことや、建設工事のこと等でわからないことは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。また、WEBサイト「建設現場へGO!」<<https://genba-go.jp/>> もご参照ください。

問合せ先
(送付先)

(一財)建設業振興基金 経営基盤整備支援センター「高校生の作文コンクール」係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階

TEL：03-5473-4572 MAIL：jinzai@kensetsu-kikin.or.jp



～ 応募用紙及び代表作品リストの記入について ～

- ①本用紙は、学年ごとに取りまとめていただいた作品の表紙としてお使いください。
 ②裏面に「**代表作品リスト**」がありますので、必要事項をご記入ください。
 ③代表5作品に選ばれなかった作品についてもすべてお送りください。
 ④学年ごとに取りまとめていただいた作品は、学校で取りまとめて建設産業人材確保・育成推進協議会（事務局：建設業振興基金）に郵送ください。

※ FAX では受け付けておりませんのでご了承ください。

学 校 名					
学校所在地	〒				
学 科 名					
学 年					
担 当 者 名	(ふりがな)				
電 話 番 号					
メー ル ア ド レ ス					
応募作品に対する問合せの他、（一財）建設業振興基金より担い手育成に関する情報を紹介させていただきます。					

応募作品数	総数	作品	内訳	男	作品
				女	作品

この応募用紙を作品の表紙として学年ごとにお使いください

* 代表作品リスト *

※学年ごとに代表5作品を選出してください。その他作品についてもすべてお送りください。
※作品タイトルは、募集テーマとは異なるものにしてください。

募集テーマ (○を付けてください)	建設産業についての私の思い	本文の文字数	文字	
	日々の学びと私の夢			
タイトル		学 年	年生	
氏 名	(ふりがな)	性別 (○を付けてください)	男	女

募集テーマ (○を付けてください)	建設産業についての私の思い	本文の文字数	文字	
	日々の学びと私の夢			
タイトル		学 年	年生	
氏 名	(ふりがな)	性別 (○を付けてください)	男	女

募集テーマ (○を付けてください)	建設産業についての私の思い	本文の文字数	文字	
	日々の学びと私の夢			
タイトル		学 年	年生	
氏 名	(ふりがな)	性別 (○を付けてください)	男	女

募集テーマ (○を付けてください)	建設産業についての私の思い	本文の文字数	文字	
	日々の学びと私の夢			
タイトル		学 年	年生	
氏 名	(ふりがな)	性別 (○を付けてください)	男	女

募集テーマ (○を付けてください)	建設産業についての私の思い	本文の文字数	文字	
	日々の学びと私の夢			
タイトル		学 年	年生	
氏 名	(ふりがな)	性別 (○を付けてください)	男	女

(一財) 建設業振興基金 経営基盤整備支援センター「高校生の作文コンクール」係
建設産業人材確保・育成推進協議会 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目 MTビル2号館6階
TEL: 03-5472-4572 メールアドレス: jinzai@kensetsu-kikin.or.jp



『建設現場へGO!』のホームページでは、「建設の仕事ってどんな内容なの?」、
「建設業で働く女性ってどんな人?」「建設業で働くためにはどうしたらいいの?」など、
建設業のシゴトに関する情報コンテンツを発信!

建設現場へGO! 検索



一見、知る、働く、建設産業のJobポータル
建設現場へGO!

<https://genba-go.jp/>

建設業で働くための
18歳のハローワーク

<https://genba-go.jp/18hellow/>

建設業
女性定着支援
WEB

<https://www.kensetsu-kikin.jp/woman/>

建設業経理士 建設業経理事務士



建設企業で注目されている資格です！

建設会社は、品質の優れた建物や道路などを造ることが最も大切な仕事ですが、工事ごとにコスト管理をしっかりと行い、一定の利益を上げなければ会社が存続していく事はできません。建設業に特化した会計知識は建設業経営に不可欠なものであり、このための資格が「建設業経理士」です。

建設業経理事務士

4級

簿記未経験者向け

3級

初心者向け

2級

中級者向け

1級

上級者向け

建設業経理士

👍 資格取得メリット

01 | ジュニアマイスター顕彰制度※1で加点

高校生が「建設業経理事務士」を取得するとジュニアマイスター顕彰制度の得点(4級1点、3級4点)が得られます。

02 | 経営事項審査※2で加点

「建設業経理士」が所属している企業は、公共工事を受注しようとする場合に必要な経営事項審査において加点されます。

※合格から5年以内の方が加点対象。その後も加点を受けるためには、登録経理講習を修了する必要があります。

※1:ジュニアマイスター顕彰制度

工業高校の生徒の意欲や技術・技能向上を目的とし、資格取得や競技大会の成果等に点数をつけ、その合計点で「(公社)全国工業高等学校校長協会」が表彰する制度です。

※2:経営事項審査

公共工事を発注者から直接請け負おうとする建設企業が必須で受ける審査です。この審査によって、「経営状況」「経営規模」「技術力」「その他の審査項目」について、数値化し、各公共発注機関が評価しています。



建設の仕事の流れが学べます！

建設業は、他の製造業とは異なり、注文を受けた後にモノを造ります。(請負) 請負は、モノが出来る前に販売価格が決まっています。そのため、工事に発生するお金やモノ(材料等)の動きを管理しながら会社としての利益を同時に生み出すようにしていく必要があります。その特徴を理解して実践するために、この資格が設けられています。

📋 資格の取得方法

01 | 独学で検定試験を受験

全国の主要都市で開催する「検定試験」に合格する！ ※検定試験は、1級・2級は年2回(9月と3月)、3級・4級は年1回(3月)実施しています。

02 | 特別研修に参加

学校単位で開催する「特別研修」に皆で参加し集中学習、最終日に行う「検定試験」に合格する！ ※特別研修は3級・4級のみ実施



これまでの合格者数

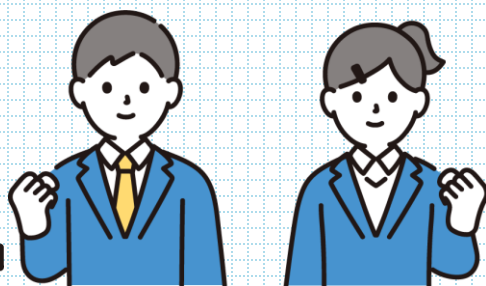
級	4級	3級	2級	1級	計
合格者	215,877人	286,801人	339,378人	29,158人	871,214人

※経理士検定試験(第32回まで)、経理事務士検定試験(第41回まで)、特別研修(令和4年度まで)の合格者数の累計です。

学校単位の申込※は 「特別価格」で受験・受講可能！

※学校単位の申込時には、学校の先生に申込担当窓口となっていた
だく必要がございます。学校単位のお申込を希望する方は、まずは
各学校の先生にご相談ください。

高校限定！



検定試験



試験日

令和6年9月8日(日) | 1級・2級

令和7年3月9日(日) | 1級・2級・3級・4級



受験地

全国47都道府県の主要都市



受験料

学校単位の申込(1名から申込可能)で、
すべての級・科目が**半額**に！

例えば…

※以下は消費税込みの価格です

3級 | 通常価格 5,820 円 ▶ **2,750 円**

2級 | 通常価格 7,120 円 ▶ **3,400 円**

特別研修

講習と検定をセットで実施します。(学習テキスト付き♪)



受講日数

4級 | 連続した2日間
3級 | 連続した3日間
(時間帯:9:00~12:00、13:00~16:30)
※研修時間は、開始時間の前後等対応可能です



受講会場

各学校の教室等

※催行可能な人数については、お問い合わせください



受講料

高校生を対象とした資格取得支援で
特別価格に！

※以下は消費税込みの価格です

4級 | 通常価格 23,100 円 ▶ **8,000 円**

3級 | 通常価格 34,650 円 ▶ **12,000 円**



短期集中学習で**合格率もアップ**！
独学で臨む検定試験と比較しても、特別研修受講者の合格率は非常に高くなっています。

4 級合格率

3 級合格率

検定試験
合格率
79.0%

特別研修
合格率
94.9%

検定試験
合格率
64.4%

特別研修
合格率
84.9%

一般財団法人 **建設業振興基金**

TEL 03-5473-4581
(9:00-12:00/13:00-17:30)
※土日祝日を除く

住所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12
HP <https://www.keiri-kentei.jp/>



高校生の皆さん！ CCUSをご存じですか？



建設キャリアアップシステム



Construction Career Up System

●CCUSって何の略？

建設キャリアアップシステムの略称です。

●何のためのシステム？

建設現場で働く技能者が日々の就業履歴や取得した資格等をクラウド上のデータベースに登録・蓄積できる建設業だけの画期的なシステムです。

●何ができるの？

現場ごとに作業内容や条件が異なる建設現場の日々の仕事を記録し、客観的な評価を可能とし、技能者の適正な評価につなげます。

カードリーダーにタッチするだけで簡単に就業履歴蓄積

1.システムへの登録

登録すると、CCUSカードが交付されます。



2.現場で読み取り

現場に設置されたカードリーダー等でCCUSカードを読み取ります。



3.就業履歴の登録

CCUSに就業履歴が登録されます。



CCUSに登録するとこんなメリットがあるよ！

頑張れば頑張るほど評価される！

カードリーダーで蓄積した就業履歴や資格の登録により技能者のレベルが明確に



レベルに応じた処遇が期待されます！！

目指せゴールドカード！

RPGゲームのように経験値を貯めてレベルアップ！！

ゴールド



レベルは全部で4種類
レベルアップがあることで目標を立てやすい！

就業履歴だけじゃないよCCUSカード

- ◆技能者カードの提示で提携したお店で割引特典が！
(資格取得の講座・飲食店・レンタカー割引等様々なサービスが受けられます)
- ◆現場でCCUS応援自販機が設置している場合にはCCUSカードをタッチすれば無料で飲料がもらえる特典も！



建設キャリアアップシステムは若者が生涯を託せる建設業を目指しています

工業高校生のための



CCUS
Construction Career Up System

CCUSってなに？

かんたん
解説！

登録のメリットは？

カードのカラーって
どう変わるの？

YouTube

#CCUSイメージアニメ

詳しくはこちら
をチェック！！



CCUS 現場ステッカーデザイン

選定5作品 最終結果発表!!



西山 ケンさん
大橋学園高等学校



岸田 咲幸さん



庭野 幹大さん

応募35作品の中から、
ご覧の5作品が選定
されました。



茂木 美羽さん
飯田OIDE長姫高等学校建築科



堀部 名那さん

※実際に建設現場に掲示されるステッカーとデザインが異なる場合がございます。

全国の工業高校から、32人のご応募をいただきました。一つ一つ思いのこもった作品をありがとうございました！

選定された5作品は、全国の様々な工事現場で掲示されます。

令和5年度（2023年度）

「高校3年生を対象とした進路に関するアンケート」
調査結果報告書

建設産業人材確保・育成推進協議会

事務局：一般財団法人建設業振興基金

経営基盤整備支援センター 人材育成支援課

令和6年（2024年）3月

目 次

はじめに

1. アンケートの概要	・ ・ ・ ・ P. 1
2. 全体集計の結果	・ ・ ・ ・ P. 3
3. クロス集計 1 の結果 (入学時の進路意識別に卒業後の進路先を集計)	・ ・ ・ ・ P. 9
4. クロス集計 2 の結果 (卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・ ・ ・ ・ P. 11
5. クロス集計 3 の結果 (入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に 卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・ ・ ・ ・ P. 13
6. クロス集計 4 の結果 (入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に 卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・ ・ ・ ・ P. 15
参考. アンケートの回答者数・回答校数の集計	・ ・ ・ ・ P. 17
各種コンテンツのご紹介	・ ・ ・ ・ P. 18

はじめに

昨今、全国各地で台風や豪雨、地震による自然災害が頻発しております。被災地での早急な道路啓開や復旧・復興工事、また、国土強靱化を実現するためのインフラ整備等、建設産業は人々が豊かな暮らしを持続的に実現するための「社会資本整備の担い手」や防災・減災を担う「地域の守り手」を担っており、建設産業の役割の重要性は増しているところ です。

こうした状況の中、建設業の技能者のうち60歳以上の割合が約4分の1を占める一方で、29歳以下は全体の約12%となっております。

各産業界における人手獲得競争が激化する中、建設産業が将来に亘り、前述の重要な役割を持続的に果たしていくためには、“若年者の担い手確保・育成・定着”が急務であり、建設産業の役割や重要性、仕事のやりがいなどの魅力発信に係る取り組みを継続的に実施する 必要がございます。

本報告書は、高等学校建設系学科に在籍する3年生（令和5年度卒業生）の生徒を対象に、高校入学時の進路意識、進路に影響を及ぼしたもの及び就職先を決めた理由、すなわち“入学から卒業”までの進路意識を把握し取りまとめました。

本報告書にて今後の建設産業の人材確保に関する取組内容を検討するにあたっての一助として、ご参考にしていただければ幸いです。

最後となりますが、本報告書の発行にあたり、ご協力いただきました高等学校建設系学科の先生方・生徒の皆さまへ、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

令和6年3月

1 アンケートの概要

1. アンケートの目的

建設系高等学校に在籍する3年生（令和5年度卒業生）の生徒を対象に、建設産業に関する進路意識についてのアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめ、今後の建設産業の人材確保・育成・定着に関する取組内容を検討するにあたっての参考資料として活用する。

2. アンケートの実施方法及び対象者

（1）依頼方法

令和5年12月19日、全国の建設系学科を有する高等学校322校へアンケート用紙を送付（工業・工科高校263校、農業高校59校）。

（2）回答期間

令和5年12月20日（水）～令和6年1月26日（金）

（3）回答方法（次の①又は②）

①Googleフォームからの回答

②アンケート用紙への自記式による回答

（4）対象者

全国の建設系高等学校に在籍する3年生（学科は土木及び建築等、建設系学科に限る）の生徒

3. アンケートの回答者数

6,779名（213校）※有効回答者数は6,423名（①Googleフォーム:3,152名 ②自記式:3,271名）

4. アンケートの集計方法

（1）全体集計（P.3～P.8）

アンケートの設問内容（問1・問2・問3・問4）の結果を集計。

（2）クロス集計（P.9～P.16）

全国の有効回答者数が6,423名と相応数の回収が図れたことから、全体集計のようないくつもの回答結果では把握することのできない集計・分析を実施するため、4通りのパターンに分けてクロス集計を行った。

1 アンケートの概要

5. アンケートの設問内容（進路先が「就職」：問1から問4

進路先が「進学又は就職・進学以外」：問1から問3）

アンケート票

【高校3年生を対象とした進路に関するアンケート（目安：約2分）】

高等学校名

学 科 名

以下の設問に対して該当する項目（□）にチェックをいれてご回答ください。

※Googleフォームから回答される方は、裏面のQRコードよりご回答願います。

問1. 高校入学時点で進路を決めておりましたでしょうか。

☐ 決めていた（建設系） ☐ 決めていた（その他） ☐ 決めていなかった

問2. 高校卒業後の進路を教えてください。

☐ 就職（建設系） ☐ 就職（その他） ☐ 進学（建設系） ☐ 進学（その他）

☐ 就職・進学以外

問3. 問2での進路を決めるにあたり、主に影響を受けたことを「最大2つまで」回答してください。

☐ 親（保護者） ☐ きょうだい ☐ 親（保護者）やきょうだい以外の親族

☐ 学校の先生 ☐ 先輩 ☐ 友達 ☐ インターネットやSNS ☐ 冊子（マンガ・雑誌等）

☐ 著名人 ☐ 学校の授業 ☐ 現場見学会・出前講座等の体験

☐ 特に他人などの影響を受けていない

☐ その他（ ）

問4. 問2で【就職】（建設系）、【就職（その他）】と回答された方にお聞きします。

その就職先に決めた主な理由を「2つ」回答してください。

☐ 自らの成長が期待できる ☐ 資格を活かせる

☐ 給与 ☐ 勤務時間や休暇 ☐ 福利厚生や手当が充実

☐ 勤務場所（地元で働く） ☐ 勤務場所（地元以外で働く）

☐ 地元での知名度が高い ☐ 会社の雰囲気・設備

☐ 就職先の見学会、インターンシップに参加して良かった ☐ 先輩や友達がいる

☐ その他（ ）

以 上

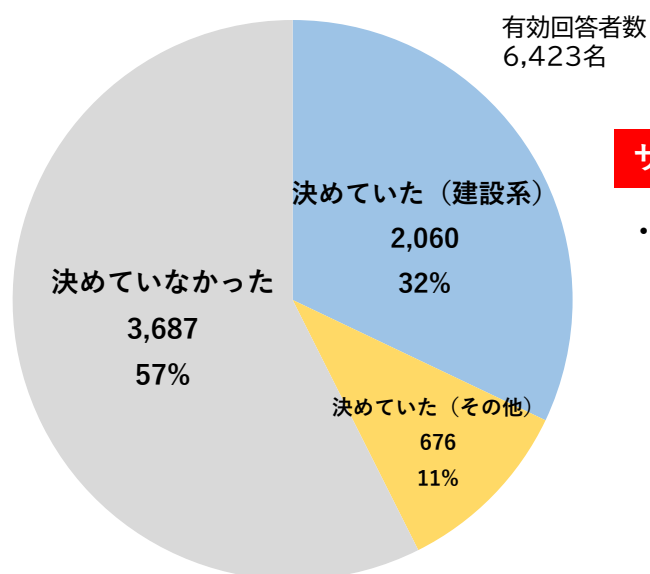
ご協力ありがとうございました。

6. 集計結果の留意点

問3・問4は複数回答形式のため、後項の各グラフの回答数と回答者数は一致しておりません。

2 全体集計の結果

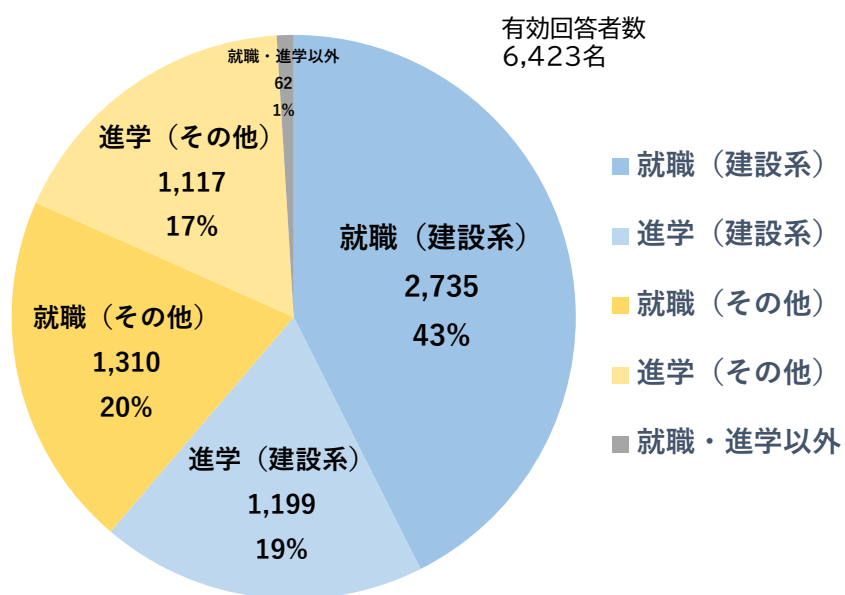
問1.高校入学時点で進路を決めておりましたでしょうか



サマリー

- ・建設系学科の高校入学時の進路意識について、建設系と決めていた割合は32%に留まっており、進路を決めていない割合が57%に及んだ。

問2.高校卒業後の進路を教えてください



●卒業後の【就職・進学】の内訳

就職：63% 進学：36%
(建設系・その他含む)

●卒業後の【進路業種

(建設系・その他)の内訳
建設系：62% その他：37%
(就職・進学含む)

サマリー

- ・高校卒業者全体では8割超が進学する時代にあって、本調査では、**進学の割合は36%、就職の割合が63%**となっており、高等学校建設系学科においては今もなお、卒業後、すぐに社会へ出る生徒の割合が高い。
- ・卒業後の進路を「建設系」か「その他（建設系以外）」で見た場合、**建設系への就職が43%、建設系への進学が19%**と**建設系への進路割合は合計で62%**に留まっており、大まかに見ると、建設系学科を卒業しても約4割は、異なる業種（建設系以外）へ進んでしまっているといえる。

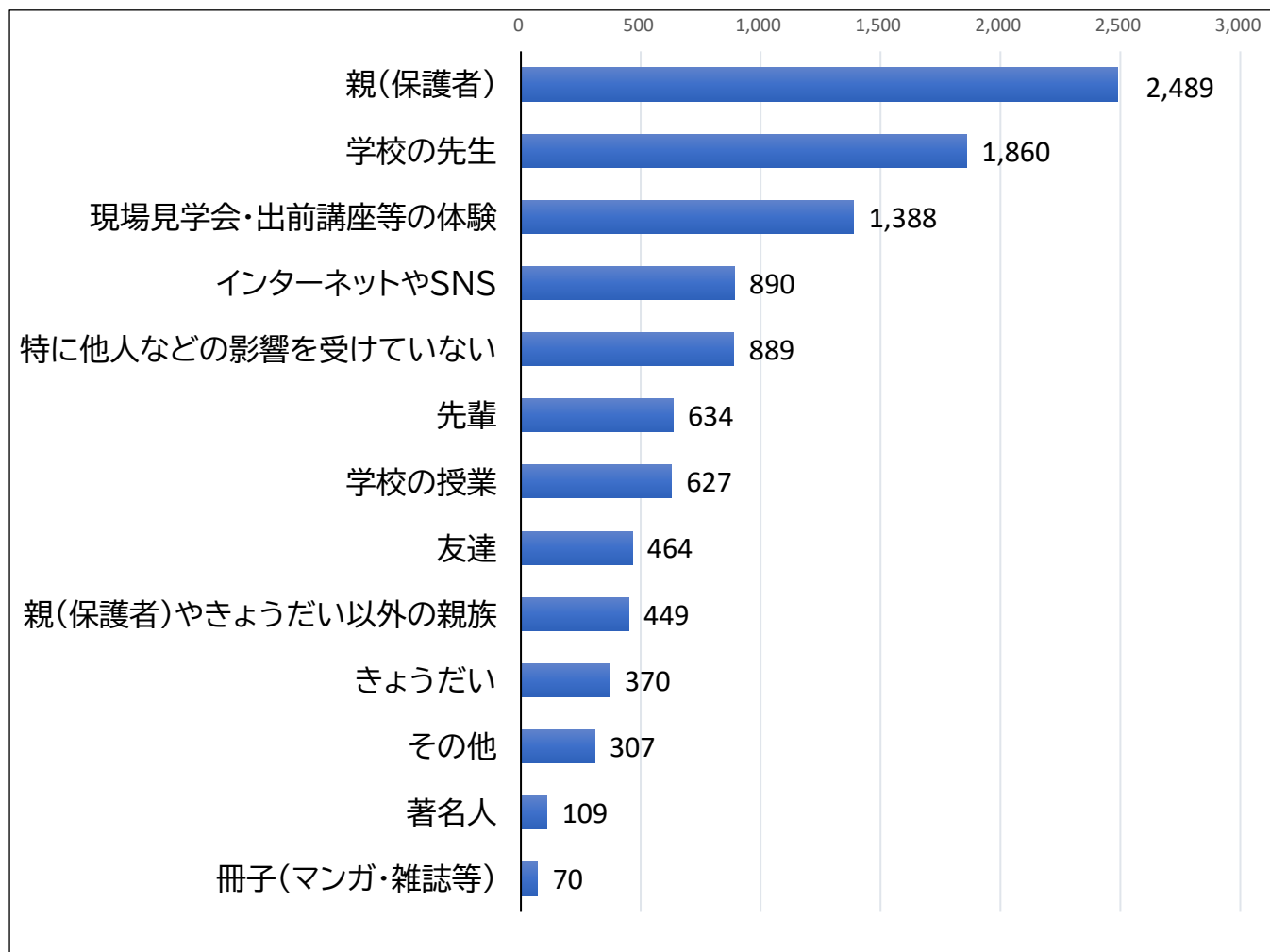
2 全体集計の結果（都道府県版 問1・問2）

都道府県	総回答者数 (a)	問1						問2									
		決めていた (建設系)		決めていなかった		決めていた (その他)		就職 (建設系)		進学 (建設系)		就職 (その他)		進学 (その他)		就職・進学 以外	
		人数 (b)	b/a	人数 (c)	c/a	人数 (d)	d/a	人数 (e)	e/a	人数 (f)	f/a	人数 (g)	g/a	人数 (h)	h/a	人数 (i)	i/a
北海道	338	99	30%	204	60%	35	10%	151	45%	40	12%	69	20%	73	22%	5	1%
青森県	89	19	21%	57	64%	13	15%	27	30%	15	17%	23	26%	23	26%	1	1%
岩手県	93	25	27%	60	65%	8	9%	44	47%	11	12%	24	26%	14	15%	0	0%
宮城県	186	50	27%	112	60%	24	13%	68	37%	26	14%	63	34%	26	14%	3	2%
秋田県	193	53	27%	109	56%	31	16%	73	38%	24	12%	61	32%	33	17%	2	1%
山形県	84	37	44%	41	49%	6	7%	29	35%	28	33%	17	20%	9	11%	1	1%
福島県	281	82	29%	171	61%	28	10%	116	41%	51	18%	60	21%	52	19%	2	1%
茨城県	194	58	30%	114	59%	22	11%	52	27%	56	29%	31	16%	45	23%	10	5%
栃木県	179	80	45%	91	51%	8	4%	83	46%	49	27%	35	20%	9	5%	3	2%
群馬県	175	61	35%	95	54%	19	11%	63	36%	45	26%	20	11%	46	26%	1	1%
埼玉県	175	67	38%	89	51%	19	11%	58	33%	44	25%	30	17%	40	23%	3	2%
千葉県	94	40	43%	42	45%	12	13%	35	37%	30	32%	14	15%	15	16%	0	0%
東京都	58	32	55%	23	40%	3	5%	38	66%	6	10%	7	12%	6	10%	1	2%
神奈川県	152	64	42%	72	47%	16	11%	91	60%	17	11%	19	13%	23	15%	2	1%
山梨県	151	41	27%	86	57%	24	16%	55	36%	33	22%	25	17%	38	25%	0	0%
新潟県	147	34	23%	93	63%	20	14%	62	42%	22	15%	30	20%	33	22%	0	0%
長野県	199	51	26%	120	60%	28	14%	60	30%	50	25%	42	21%	46	23%	1	1%
富山県	148	35	24%	94	64%	19	13%	56	38%	22	15%	26	18%	43	29%	1	1%
石川県	114	38	33%	66	58%	10	9%	54	47%	25	22%	14	12%	21	18%	0	0%
福井県	49	18	37%	26	53%	5	10%	27	55%	3	6%	16	33%	3	6%	0	0%
岐阜県	98	39	40%	46	47%	13	13%	48	49%	18	18%	16	16%	16	16%	0	0%
静岡県	252	85	34%	138	55%	29	12%	102	40%	62	25%	54	21%	30	12%	4	2%
愛知県	240	85	35%	130	54%	25	10%	120	50%	47	20%	44	18%	27	11%	2	1%
三重県	152	46	30%	98	64%	8	5%	57	38%	24	16%	48	32%	23	15%	0	0%
滋賀県	29	13	45%	14	48%	2	7%	12	41%	8	28%	5	17%	4	14%	0	0%
京都府	87	20	23%	53	61%	14	16%	23	26%	25	29%	15	17%	24	28%	0	0%
大阪府	209	80	38%	110	53%	19	9%	80	38%	67	32%	25	12%	36	17%	1	0%
兵庫県	116	47	41%	61	53%	8	7%	37	32%	37	32%	23	20%	17	15%	2	2%
奈良県	45	13	29%	25	56%	7	16%	11	24%	17	38%	6	13%	9	20%	2	4%
和歌山県	57	17	30%	32	56%	8	14%	16	28%	15	26%	10	18%	16	28%	0	0%
鳥取県	38	12	32%	23	61%	3	8%	18	47%	10	26%	6	16%	4	11%	0	0%
島根県	111	40	36%	69	62%	2	2%	57	51%	16	14%	15	14%	23	21%	0	0%
岡山県	181	56	31%	104	57%	21	12%	78	43%	32	18%	44	24%	26	14%	1	1%
広島県	50	10	20%	36	72%	4	8%	10	20%	8	16%	18	36%	14	28%	0	0%
山口県	74	9	12%	57	77%	8	11%	28	38%	4	5%	27	36%	13	18%	2	3%
香川県	79	32	41%	39	49%	8	10%	36	46%	29	37%	7	9%	7	9%	0	0%
徳島県	75	18	24%	51	68%	6	8%	41	55%	8	11%	12	16%	14	19%	0	0%
愛媛県	167	58	35%	98	59%	11	7%	90	54%	18	11%	29	17%	29	17%	1	1%
高知県	102	27	26%	66	65%	9	9%	42	41%	21	21%	13	13%	24	24%	2	2%
福岡県	72	24	33%	38	53%	10	14%	43	60%	4	6%	12	17%	13	18%	0	0%
佐賀県	73	16	22%	47	64%	10	14%	38	52%	7	10%	20	27%	8	11%	0	0%
長崎県	172	60	35%	96	56%	16	9%	92	53%	23	13%	32	19%	24	14%	1	1%
熊本県	266	68	26%	163	61%	35	13%	114	43%	17	6%	87	33%	45	17%	3	1%
大分県	101	41	41%	52	51%	8	8%	68	67%	11	11%	14	14%	7	7%	1	1%
宮崎県	146	49	34%	78	53%	19	13%	70	48%	19	13%	40	27%	16	11%	1	1%
鹿児島県	204	64	31%	124	61%	16	8%	102	50%	26	13%	49	24%	27	13%	0	0%
沖縄県	128	47	37%	74	58%	7	5%	60	47%	29	23%	13	10%	23	18%	3	2%
合計	6,423	2,060	32%	3,687	57%	676	11%	2,735	43%	1,199	19%	1,310	20%	1,117	17%	62	1%

2 全体集計の結果

問3.問2での進路を決めるにあたり、主に影響を受けたことを「最大2つまで」回答してください。

有効回答数:6,423名(複数回答)



サマリー

- ・卒業後の進路を決定するうえで、“**親（保護者）**”の影響を最も強く受けており、次の“**学校の先生**”と合わせて、身近にいる大人の影響を受けていることがわかる。続いて“**現場見学会・出前講座等の体験**”となっており、建設産業界が実施する体験学習の効果が顕れている。
- ・若年者が慣れ親しんでいる“**インターネットやSNS**”が上位であることから、“**インターネットやSNS**”のコンテンツによる継続的な訴求も重要であることが窺える。

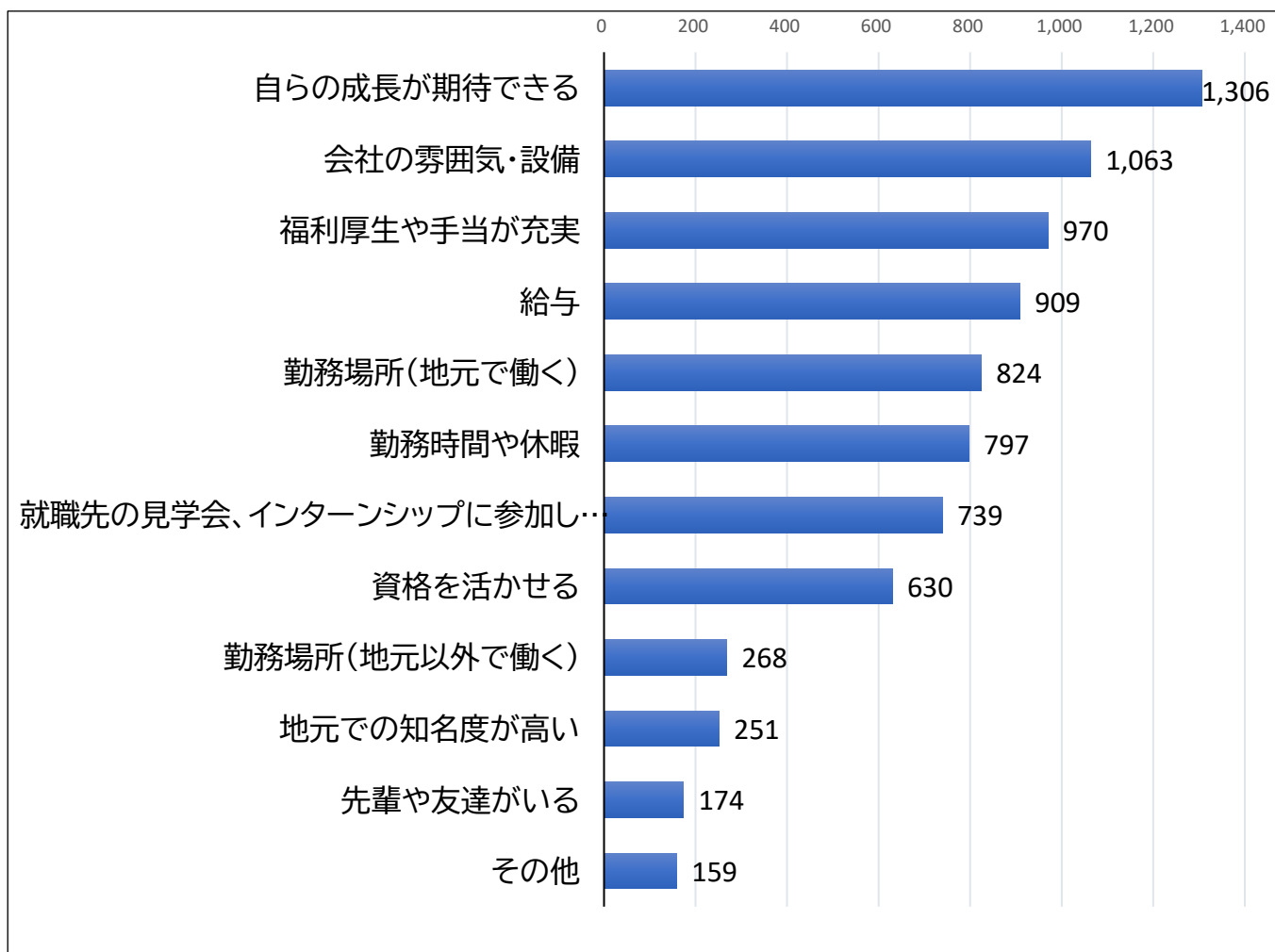
回答数一覧表	
①親（保護者）	2,489
②学校の先生	1,860
③現場見学会・出前講座等の体験	1,388
④インターネットやSNS	890
⑤特に他人などの影響を受けていない	889
⑥先輩	634

⑦学校の授業	627
⑧友達	464
⑨親（保護者）やきょうだい以外の親族	449
⑩きょうだい	370
⑪その他	307
⑫著名人	109
⑬冊子（マンガ・雑誌等）	70

2 全体集計の結果

問4.問2で【就職(建設系)】【就職(その他)】と回答された方にお聞きます。その就職先に決めた主な理由を「2つ」回答してください。

卒業後に就職する方限定 有効回答数:4,045名(複数回答)



サマリー

- ・就職先の選択理由において、“**自らの成長が期待できる**”との回答が最も多かった。企業P Rにおいて、高校生に対し入社後の将来像、キャリアパスや研修プログラムなどをしっかり示すことが非常に重要であることが窺える。

回答数一覧表	
①自らの成長が期待できる	1,306
②会社の雰囲気・設備	1,063
③福利厚生や手当が充実	970
④給与	909
⑤勤務場所（地元で働く）	824
⑥勤務時間や休暇	797

⑦就職先の見学会、インターンシップに参加して良かった	739
⑧資格を活かせる	630
⑨勤務場所（地元以外で働く）	268
⑩地元での知名度が高い	251
⑪先輩や友達がいる	174
⑫その他	159

2 全体集計の結果（都道府県版 問3）

注：下表の①～⑬は以下の項目を指します（問3は複数回答形式のため、回答数と回答者数は一致していません）

①親（保護者） ②学校の先生 ③現場見学会・出前講座等の体験 ④インターネットやSNS ⑤特に他人などの影響を受けていない
⑥先輩 ⑦学校の授業 ⑧友達 ⑨親（保護者）やきょうだい以外の親族 ⑩きょうだい ⑪その他 ⑫著名人 ⑬冊子（マンガ・雑誌等）

都道府県	総回答者数	問3												
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
		回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
北海道	338	157	111	53	40	37	28	23	23	23	33	18	8	2
青森県	89	27	23	14	21	14	10	11	7	10	6	5	2	0
岩手県	93	24	39	26	10	7	15	9	12	5	2	4	1	3
宮城県	186	83	62	31	17	33	13	14	18	11	12	8	2	1
秋田県	193	78	50	53	29	24	26	13	8	15	15	5	6	2
山形県	84	34	23	17	12	12	8	8	6	5	5	7	0	1
福島県	281	115	65	73	40	31	31	25	26	19	20	8	7	3
茨城県	194	72	60	30	36	29	18	15	21	14	12	13	2	1
栃木県	179	86	45	39	23	28	17	17	12	12	7	13	3	2
群馬県	175	72	42	35	30	25	19	15	18	12	7	9	4	2
埼玉県	175	63	43	31	27	35	14	11	12	13	10	7	6	5
千葉県	94	47	30	15	12	13	3	12	6	6	6	7	2	1
東京都	58	15	19	18	7	10	2	11	1	3	3	7	0	0
神奈川県	152	64	49	39	11	22	12	25	7	8	12	7	3	1
山梨県	151	54	28	37	34	19	14	19	11	15	11	6	4	1
新潟県	147	40	33	47	23	26	10	15	8	4	9	3	3	5
長野県	199	86	60	43	27	26	12	29	13	13	11	8	2	2
富山県	148	46	49	33	28	22	10	20	8	12	10	4	3	1
石川県	114	49	25	14	16	15	7	13	11	9	11	6	2	0
福井県	49	27	7	13	4	6	3	4	2	5	4	1	1	0
岐阜県	98	35	31	24	10	14	11	9	3	6	7	8	1	3
静岡県	252	108	77	53	34	29	25	26	15	14	12	17	4	2
愛知県	240	92	66	48	24	44	18	29	20	16	11	11	5	3
三重県	152	55	45	33	15	23	7	15	12	13	8	6	0	1
滋賀県	29	12	6	5	4	4	2	4	1	3	1	3	0	0
京都府	87	26	30	10	10	16	5	10	8	4	3	4	3	0
大阪府	209	85	50	29	33	33	16	22	20	13	14	13	4	3
兵庫県	116	55	31	26	18	15	10	13	6	8	5	4	2	3
奈良県	45	15	13	13	6	6	1	5	5	2	1	2	2	0
和歌山県	57	23	19	4	4	9	7	6	2	2	2	7	2	0
鳥取県	38	13	12	9	4	7	2	2	2	4	0	2	1	0
島根県	111	29	35	31	25	13	13	18	9	2	3	7	1	4
岡山県	181	58	58	39	32	23	16	21	10	14	9	10	0	2
広島県	50	15	14	13	6	7	7	6	4	3	2	1	0	0
山口県	74	33	14	18	9	14	5	11	3	4	3	4	1	0
香川県	79	33	42	13	7	9	8	10	4	4	3	0	0	2
徳島県	75	27	26	16	12	8	11	12	10	3	1	1	0	1
愛媛県	167	70	47	44	24	25	21	11	9	13	7	2	2	1
高知県	102	42	19	22	12	14	13	8	10	10	5	5	1	4
福岡県	72	32	15	17	4	6	16	7	1	6	6	7	0	1
佐賀県	73	28	26	22	6	12	9	3	4	6	9	3	1	0
長崎県	172	52	51	52	24	15	40	10	13	12	14	6	4	0
熊本県	266	85	83	59	34	35	32	15	19	23	16	13	2	5
大分県	101	55	44	18	16	7	8	9	2	10	5	2	2	1
宮崎県	146	62	34	28	19	27	21	11	9	12	6	8	2	0
鹿児島県	204	72	68	50	33	17	27	15	17	16	10	9	6	0
沖縄県	128	38	41	31	18	23	11	10	16	12	1	6	2	1
合計	6,423	2,489	1,860	1,388	890	889	634	627	464	449	370	307	109	70

2 全体集計の結果（都道府県版 問4）

注）：下表の①～⑫は以下の項目を指します（問4は複数回答形式のため、回答数と回答者数は一致していません）

①自らの成長が期待できる ②会社の雰囲気・設備 ③福利厚生や手当が充実 ④給与 ⑤勤務場所（地元で働く） ⑥勤務時間や休暇

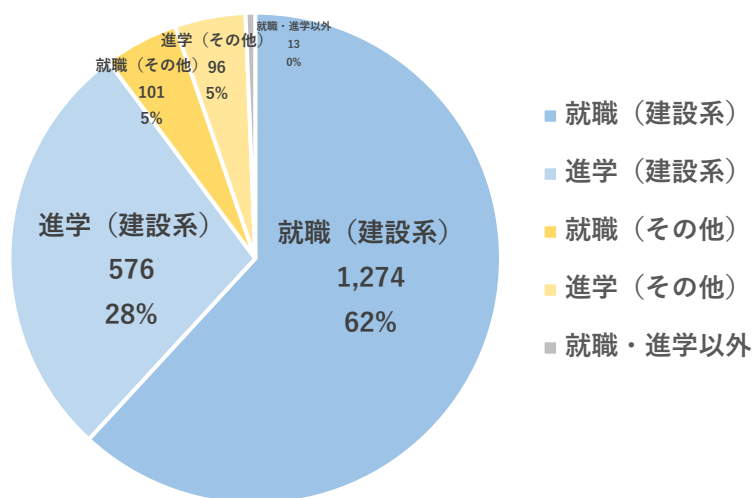
⑦就職先の見学会、インターシップに参加して良かった ⑧資格を活かせる ⑨勤務場所（地元以外で働く） ⑩地元での知名度が高い ⑪先輩や友達がいる ⑫その他

都道府県	総回答 者数 (就職者 のみ)	問4											
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
北海道	220	70	60	49	56	44	40	48	26	24	11	10	2
青森県	50	18	10	12	11	13	6	14	5	7	3	1	0
岩手県	68	15	16	15	17	20	9	16	16	4	2	4	2
宮城県	131	47	22	38	35	26	33	26	10	8	7	8	2
秋田県	134	35	25	36	29	39	12	40	18	17	12	1	4
山形県	46	16	11	12	10	10	9	10	5	6	1	1	1
福島県	176	55	40	43	35	40	22	31	42	13	11	15	5
茨城県	83	13	21	14	26	23	18	17	18	3	9	2	2
栃木県	118	34	28	27	30	25	35	18	21	4	7	4	3
群馬県	83	26	20	20	20	14	22	17	11	2	4	4	6
埼玉県	88	50	29	18	16	8	12	8	12	4	7	5	7
千葉県	49	15	11	15	13	7	10	8	1	2	5	3	8
東京都	45	15	13	11	17	5	11	6	6	0	3	0	3
神奈川県	110	31	35	26	31	11	20	30	14	2	7	3	10
山梨県	80	25	26	17	14	19	13	16	9	4	4	7	6
新潟県	92	26	25	19	20	24	18	16	19	6	9	0	2
長野県	102	40	22	20	24	21	12	16	23	9	10	4	3
富山県	82	36	25	16	8	19	15	19	15	1	7	1	2
石川県	68	21	32	10	11	13	11	17	8	1	5	5	2
福井県	43	22	13	6	14	5	2	10	5	2	7	0	0
岐阜県	64	19	15	11	19	11	20	13	7	3	4	3	3
静岡県	156	42	47	37	34	38	29	35	26	6	8	4	6
愛知県	164	51	47	37	48	29	50	18	11	10	12	9	6
三重県	105	27	32	24	20	24	25	21	14	2	9	5	7
滋賀県	17	4	8	3	1	2	3	3	3	0	3	0	4
京都府	38	10	7	11	3	5	9	12	9	4	2	2	2
大阪府	105	29	29	34	22	20	32	12	11	2	4	8	7
兵庫県	60	13	28	13	10	14	9	10	12	2	5	2	2
奈良県	17	9	4	3	4	1	2	6	3	1	1	0	0
和歌山県	26	12	8	3	9	5	6	1	1	1	3	0	3
鳥取県	24	8	6	5	3	5	9	5	5	0	1	1	0
島根県	72	22	24	16	12	13	12	16	12	3	7	5	2
岡山県	122	42	21	31	35	19	26	21	15	7	13	7	7
広島県	28	7	6	7	7	11	8	4	1	0	3	0	2
山口県	55	12	16	15	14	8	9	12	12	7	1	2	2
香川県	43	18	7	15	8	11	7	8	5	4	2	1	0
徳島県	53	21	17	8	11	9	8	10	14	2	2	3	1
愛媛県	119	43	36	33	18	28	18	14	26	9	5	4	4
高知県	55	14	16	16	18	9	12	8	10	1	2	2	2
福岡県	55	15	14	20	8	7	14	3	7	12	5	3	2
佐賀県	58	16	10	8	16	22	18	7	5	5	6	1	2
長崎県	124	47	36	31	13	29	20	22	23	18	3	4	2
熊本県	201	70	44	47	46	46	34	34	39	9	8	14	11
大分県	82	26	17	24	16	14	18	15	15	9	4	3	3
宮崎県	110	34	28	29	20	21	31	13	24	12	0	6	2
鹿児島県	151	48	44	46	31	29	25	24	22	17	5	5	6
沖縄県	73	37	12	19	26	8	13	9	14	3	2	2	1
合計	6,423	1,306	1,063	970	909	824	797	739	630	268	251	174	159

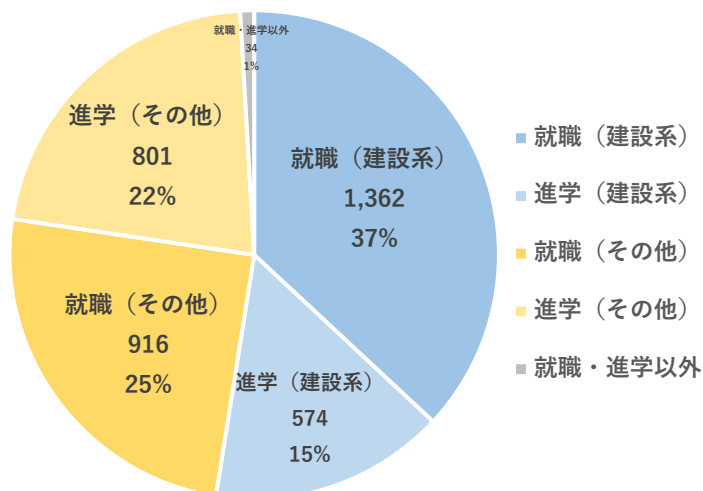
3 クロス集計1の結果

入学時の進路意識別に卒業後の進路先を集計。

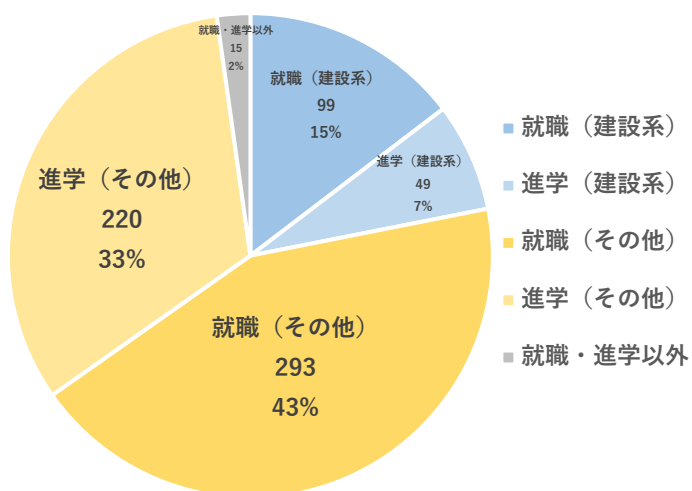
●入学時の進路を「決めていた（建設系）」回答者の進路先（2,060名）



●入学時の進路を「決めていなかった」回答者の進路先（3,687名）



●入学時の進路を「決めていた（その他）」回答者の進路先（676名）



入学時の進路を「決めていた（建設系）」回答者の進路先

就職（建設系）	1274
就職（その他）	101
進学（建設系）	576
進学（その他）	96
就職・進学以外	13

建設系で90%
(1,850名)

入学時の進路を「決めていなかった」回答者の進路先

就職（建設系）	1362
就職（その他）	916
進学（建設系）	574
進学（その他）	801
就職・進学以外	34

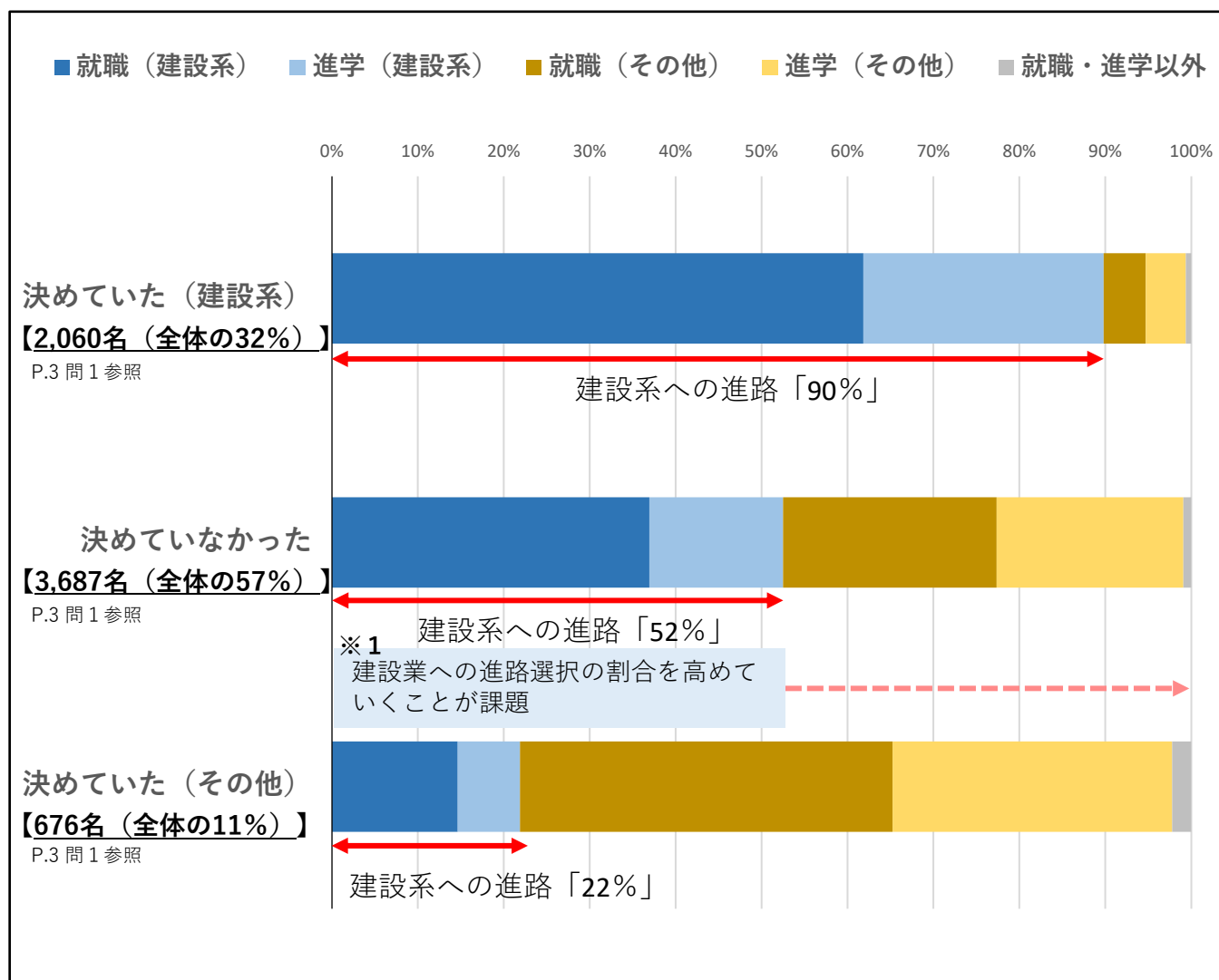
建設系で52%
(1,936名)

入学時の進路を「決めていた（その他）」回答者の進路先

就職（建設系）	99
就職（その他）	293
進学（建設系）	49
進学（その他）	220
就職・進学以外	15

建設系で22%
(148名)

3 クロス集計1の結果



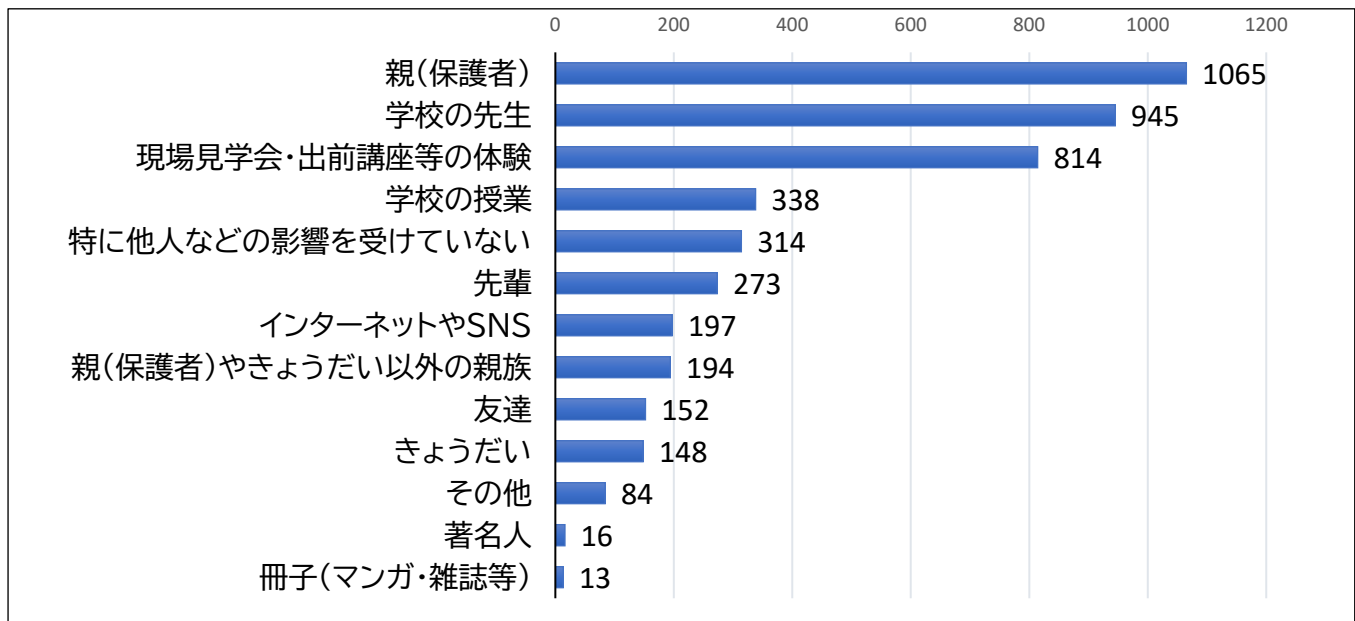
サマリー (クロス集計1)

- ・「高校入学時、建設系に進路を決めていた生徒」の割合は全体の32% (P.3 問1 参照) に留まるものの、この内90%が卒業後の進路を建設系としていることから、**入学時に目的意識を定めて入学した生徒ほど一貫して卒業後の進路に反映される結果**となった。このことから、**高校卒業後の建設産業界への進路決定については、高校入学前（主に小学生・中学生）に建設産業界への進路意識（興味・関心等）を持ってもらうことが重要**であると窺える。
- ・その一方で、全体の57%を占める「入学時に進路を決めていなかった生徒」 (P.3 問1 参照) については 卒業後の建設系への進路選択が52%であり、「入学時に建設系に進路を決めていた生徒」の90%と比較すると大きな開きが生じていることから、担い手確保に向けて、※1（上表）この割合を高めていくことが課題であると窺える（この課題における分析内容については、クロス集計4-1 (P.15)、4-2 (P.16) を参照）。

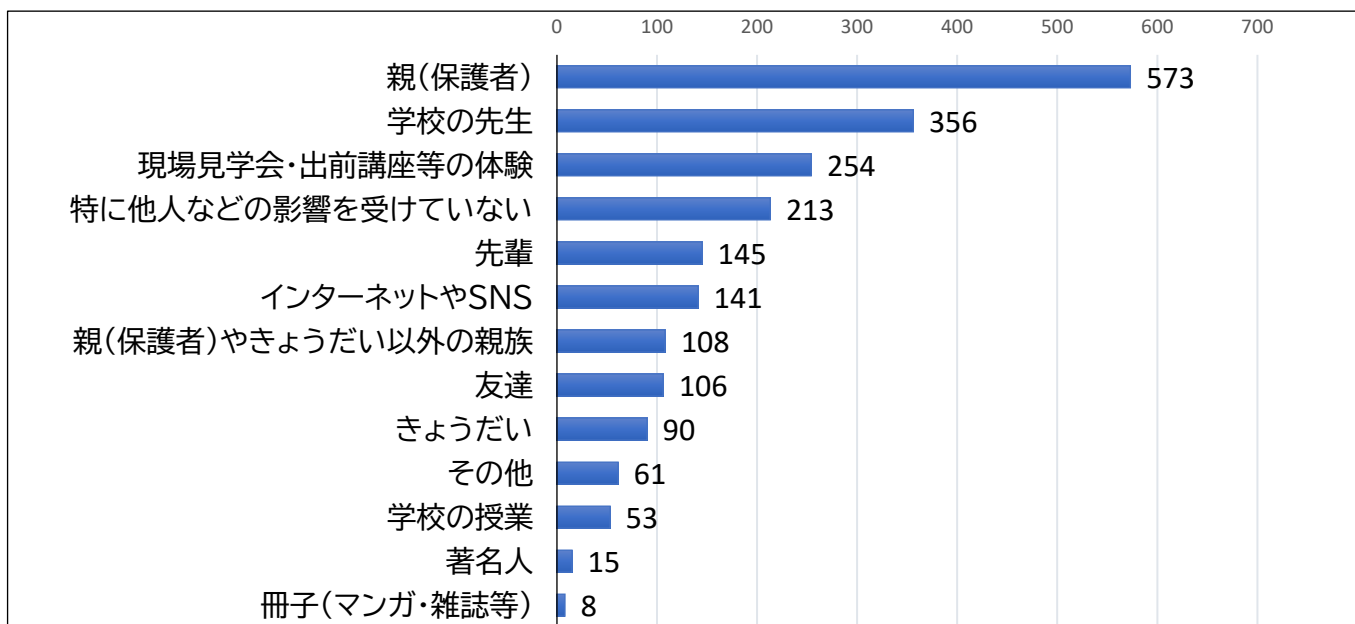
4 クロス集計2-1の結果

卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの差異を分析。

卒業後「就職（建設系）」を進路先とした回答者（2,735名）



卒業後「就職（その他）」を進路先とした回答者（1,310名）



サマリー（クロス集計2-1）

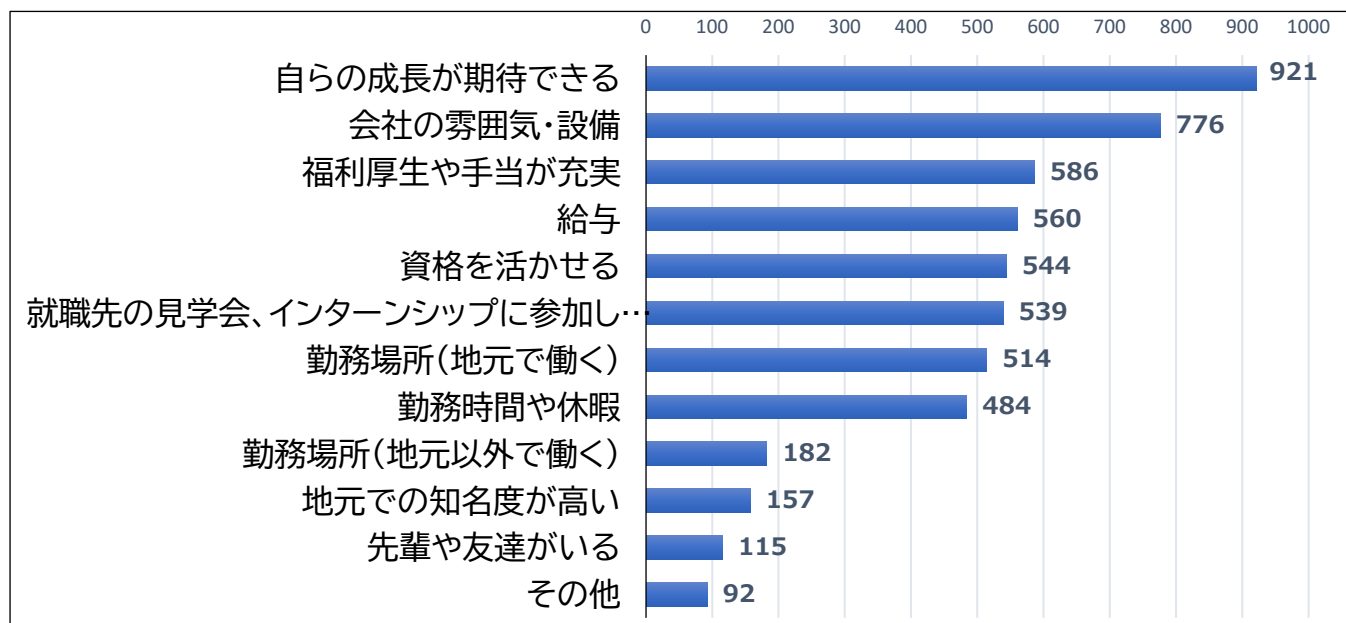
※就（建）・・・「就職（建設系）」 ※就（他）・・・「就職（その他）」

- ・共通して“親（保護者）”“学校の先生”“現場見学会・出前講座等の体験”の回答が上位となっており、全体的な差異が見受けられない中、※就（建）では“学校の授業”が4位に対し※就（他）は11位であり、建設系に就職する生徒ほど“学校の授業”に影響を受けていることが窺える。

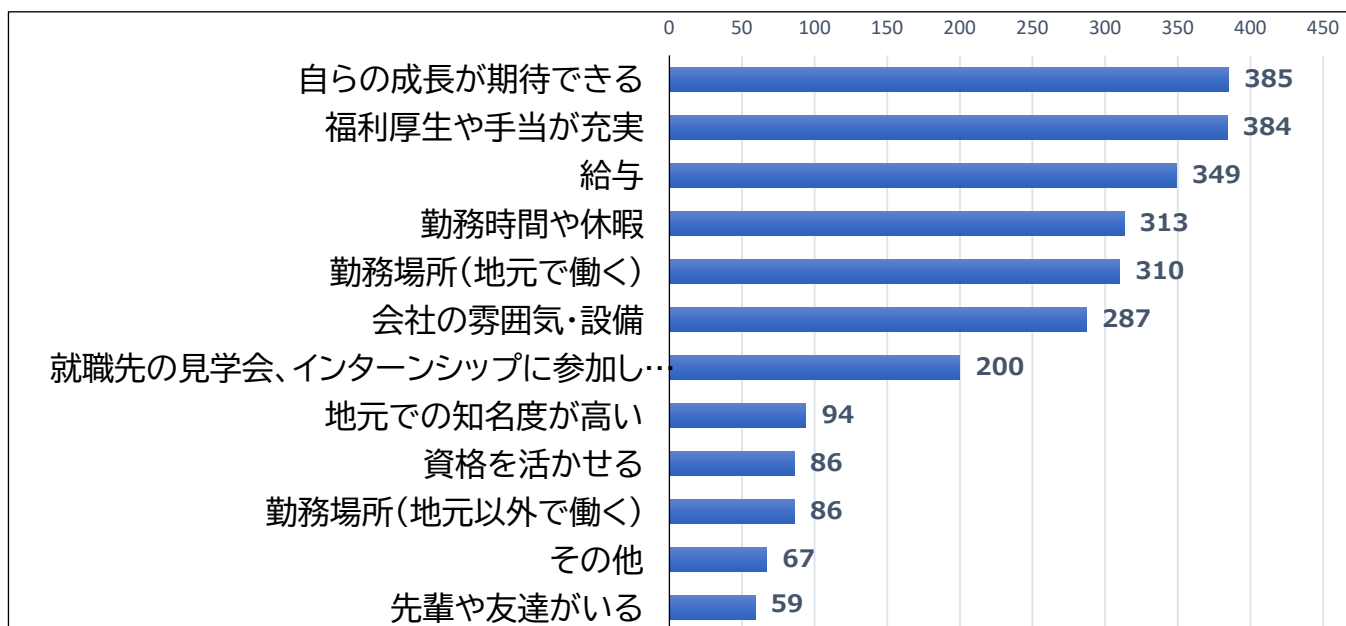
4 クロス集計2－2の結果

卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

卒業後「就職（建設系）」を進路先とした回答者（2,735名）



卒業後「就職（その他）」を進路先とした回答者（1,310名）



サマリー（クロス集計2－2）

※就（建）・・・「就職（建設系）」 ※就（他）・・・「就職（その他）」

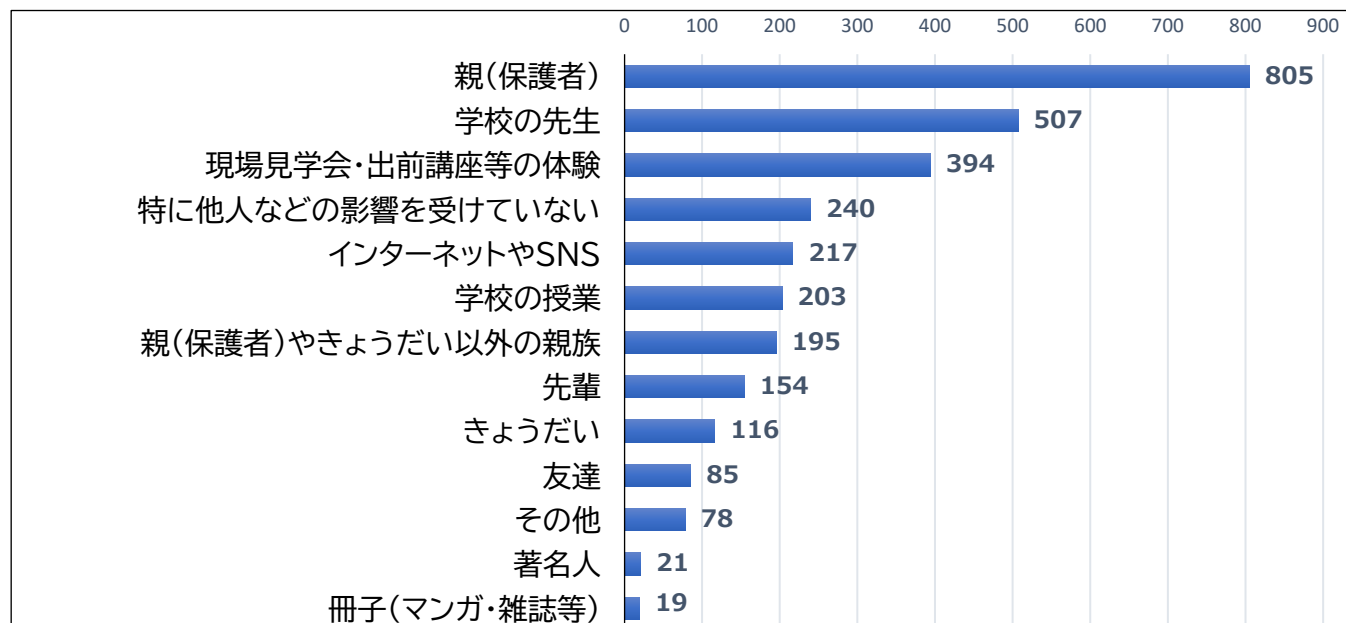
- ・共通して“**自らの成長が期待できる**”の回答が最上位となった。
- ・※就（建）では“**会社の雰囲気・設備**”“**資格を活かせる**”が**上位5位以内**となっている一方で、※就（他）は**それぞれ5位以下**となっている。どんな人とどのような環境で働くのか、また、在学中に得た資格を活かせるかを重視していることが窺える。

5 クロス集計3-1の結果

入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に、卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの差異を分析（就職・進学を含む）。

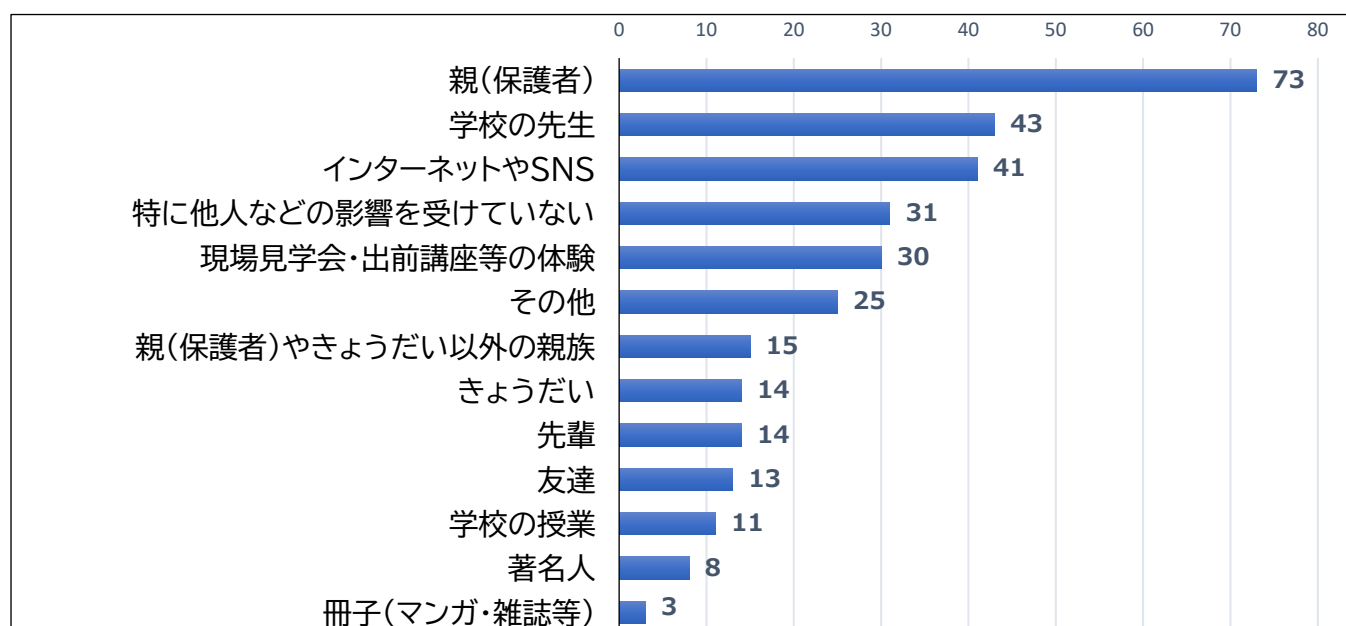
※就職・進学含む

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「建設系」を進路とした回答者（1,850名）



※就職・進学含む

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「その他」を進路とした回答者（197名）



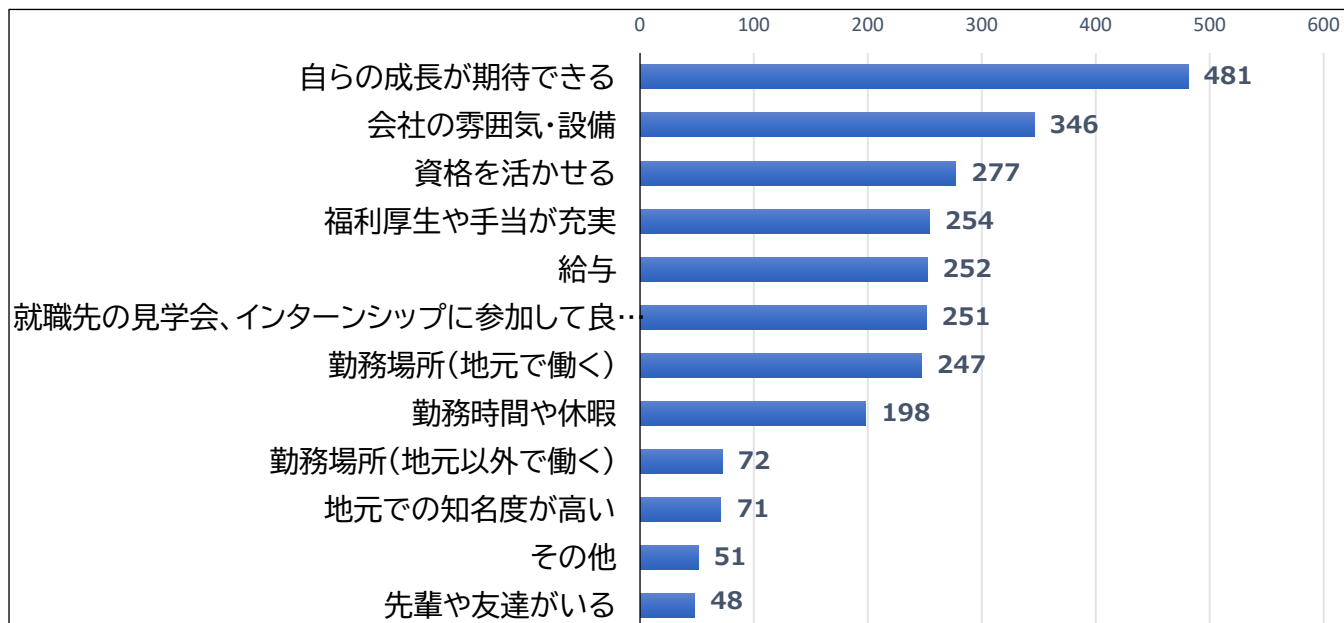
サマリー（クロス集計3-1）

- ・共通して上位5位以内は変わらない等、進路を決めるにあたり影響を受けたことについて特段の差異がない中、クロス集計3-2の就職先を決めた理由では差異が見受けられた。
- ・進路意識を建設系としていたにも関わらず「その他（建設系以外）」へ進んだ生徒は“親（保護者）”の影響を最も受けていることから、“親（保護者）”に対する建設産業の魅力等のPRを実施することが重要と窺える。

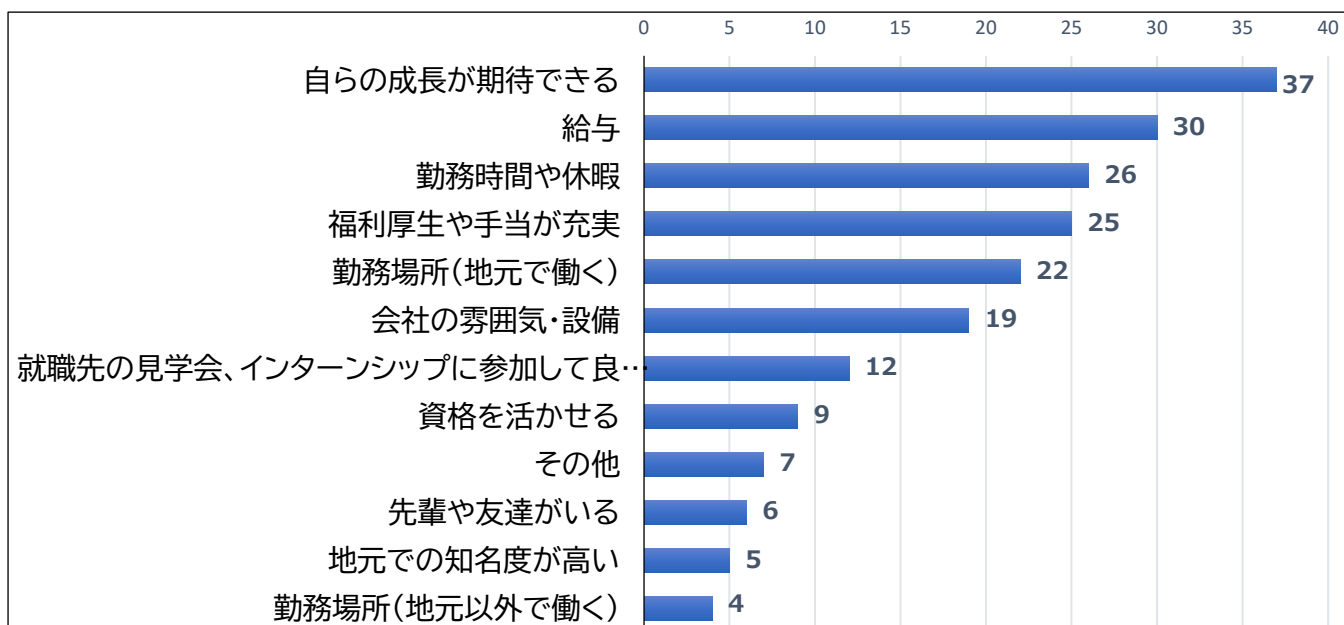
5 クロス集計3-2の結果

入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に、卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「就職（建設系）」とした回答者（1,274名）



入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「就職（その他）」とした回答者（101名）



サマリー（クロス集計3-2）

※就（建）・・・「就職（建設系）」 ※就（他）・・・「就職（その他）」

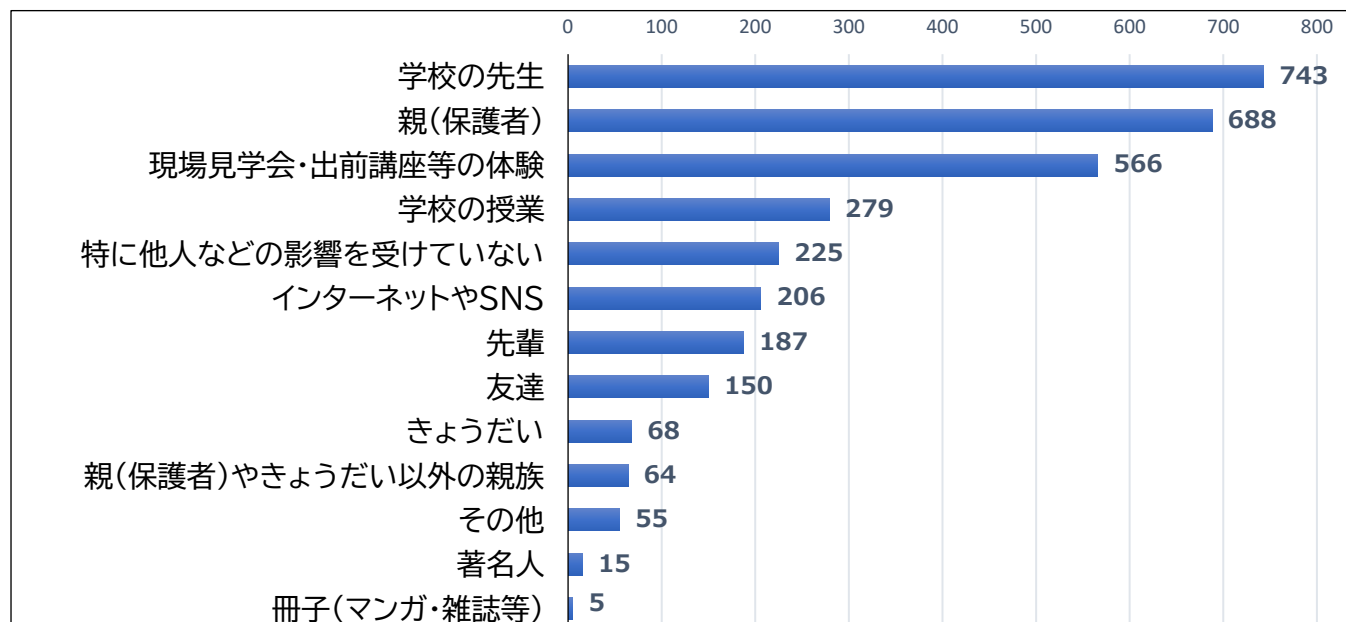
- ・共通して“**自らの成長が期待できる**”が最上位となった。
- ・※就（建）は“**会社の雰囲気・設備**”“**資格を活かせる**”が上位となっている一方で、入学時に建設系への進路意識をもっていたにも関わらず※就（他）の進路を選択した生徒においては、“**給与**”“**勤務時間や休暇**”を重視していることが窺える。

6 クロス集計4-1の結果

入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に、卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの理由の差異を分析（就職・進学を含む）。

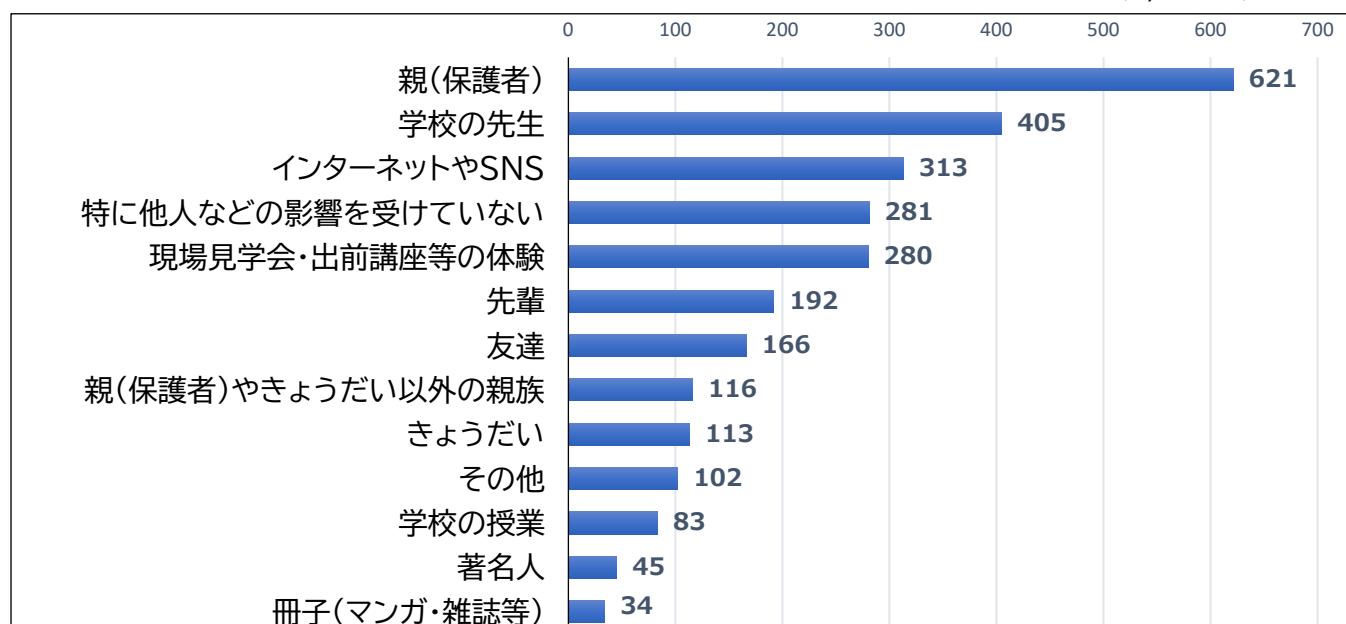
※就職・進学含む

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「建設系」を進路とした回答者（1,936名）



※就職・進学含む

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「その他」を進路とした回答者（1,717名）



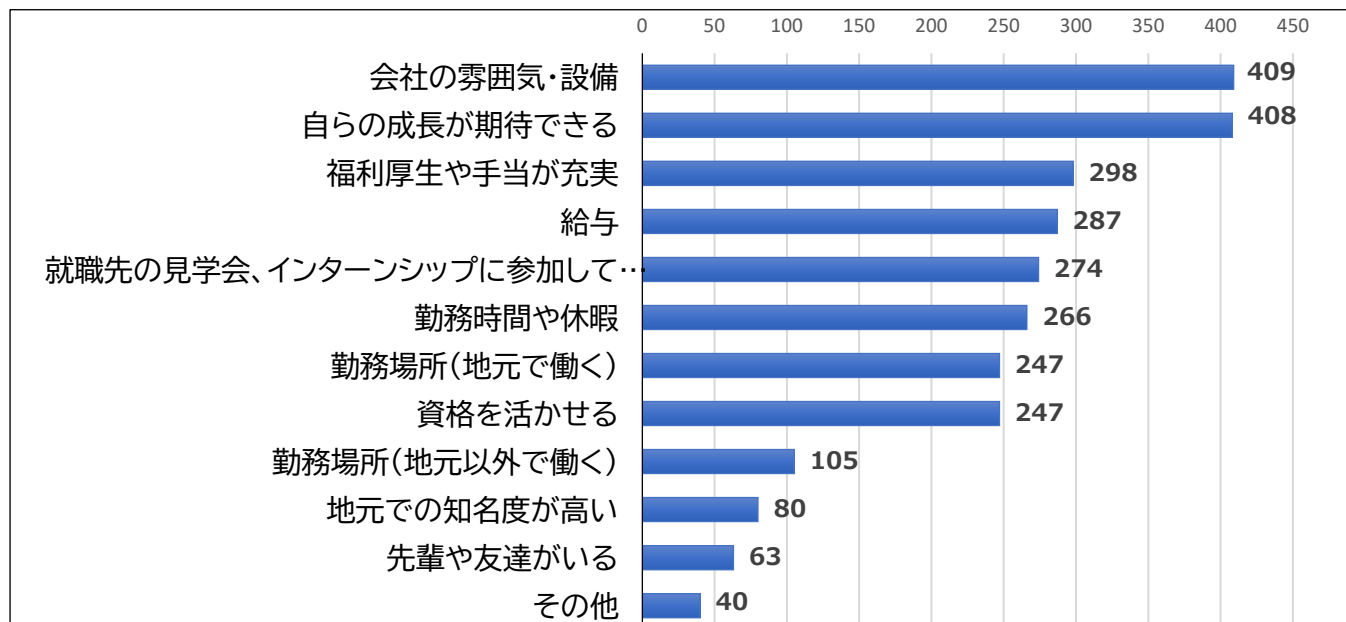
サマリー（クロス集計4-1）

- ・入学時に進路を決めていなかった生徒が建設系への進路を決めるにあたり“**学校の先生**”から最も影響を受けているため、“**学校の先生**”による進路指導等が大きく寄与していると窺える。さらに「建設系」は「その他（建設系以外）」と比較し“**学校の授業**”が上位となっている。なお、クロス集計3-1と同様「その他（同上）」は“**親（保護者）**”からの影響が突出している。
- ・入学時に進路を決めていなかった生徒が建設系への進路を決めるにあたり“**学校の先生**”や“**学校の授業**”、“**現場見学会・出前講座等の体験**”が大きな影響を及ぼしていることが窺える。

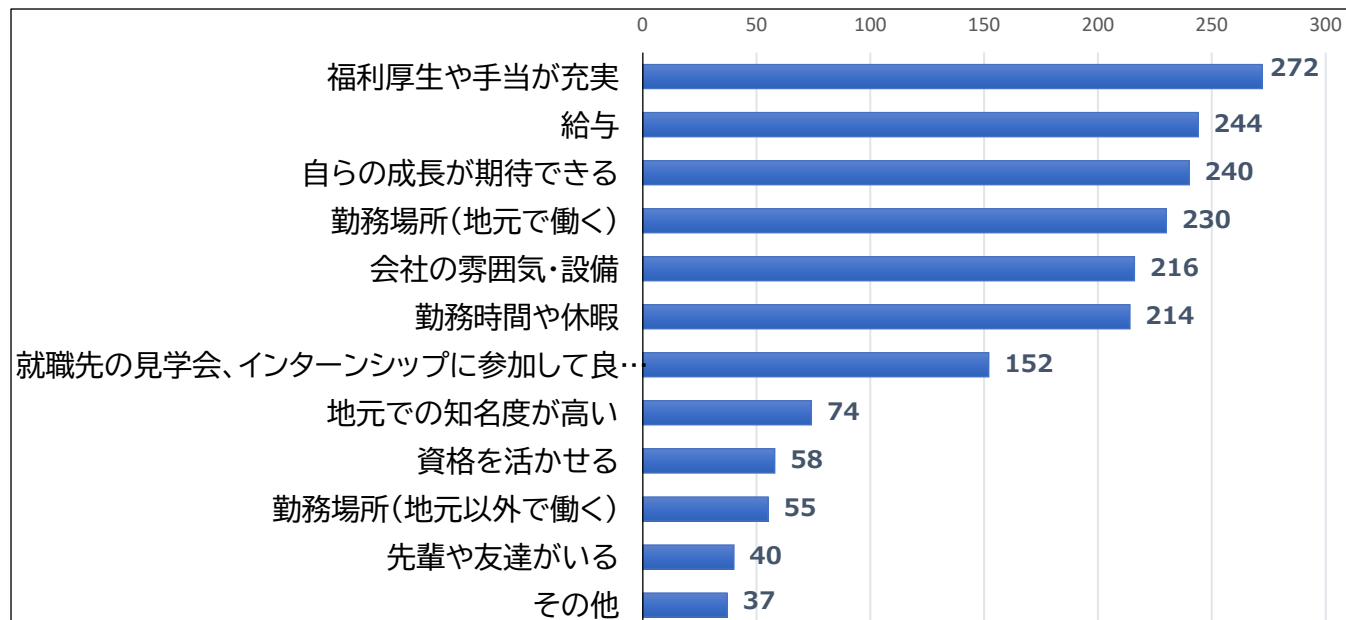
6 クロス集計4－2の結果

入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に、卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「就職（建設系）」とした回答者（1,362名）



入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「就職（その他）」とした回答者（916名）



サマリー（クロス集計4－2）

※就（建）・・・「就職（建設系）」 ※就（他）・・・「就職（その他）」

- ・※就（建）は働く環境面を重視している一方で、※就（他）は待遇面を重視していることが窺える。就（他）は“給与”はもとより、“福利厚生や手当が充実”も重視している。
- ・就（他）において、待遇面以外に、“勤務場所（地元で働く）”の「地元就職」も上位にあるにも関わらず、一定数が建設業ではなく他産業を選択していることが課題であると窺える。

参考 アンケートの回答者数・回答校数の集計

●高校所在地別（都道府県） 回答者数・回答学校数【有効回答のみ】

都道府県名	回答者数	回答校数	(送付校数)
北海道	338	8	13
青森県	89	3	7
岩手県	93	3	6
宮城県	186	8	8
秋田県	193	9	10
山形県	84	3	5
福島県	281	9	11
茨城県	194	5	6
栃木県	179	5	8
群馬県	175	6	8
埼玉県	175	5	7
千葉県	94	4	7
東京都	58	2	5
神奈川県	152	4	8
山梨県	151	6	7
新潟県	147	5	8
長野県	199	3	5
富山県	148	4	4
石川県	114	3	4
福井県	49	2	3
岐阜県	98	4	10
静岡県	252	9	10
愛知県	240	7	13
三重県	152	5	6
滋賀県	29	2	2
京都府	87	3	5
大阪府	209	6	8
兵庫県	116	5	8
奈良県	45	2	3
和歌山県	57	1	2
鳥取県	38	2	2
島根県	111	5	6
岡山県	181	5	7
広島県	50	3	8
山口県	74	4	7
香川県	79	2	4
徳島県	75	3	3
愛媛県	167	6	7
高知県	102	4	5
福岡県	72	3	14
佐賀県	73	3	8
長崎県	172	5	6
熊本県	266	8	12
大分県	101	2	5
宮崎県	146	5	6
鹿児島県	204	7	10
沖縄県	128	5	5
合計	6,423	213	322

各種コンテンツのご紹介

(1) 人材協のコンテンツのご紹介

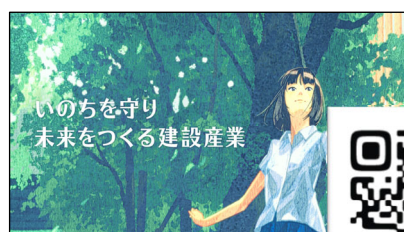
建設産業人材確保・育成推進協議会（人材協）では将来の建設産業を担う若年者に対し建設産業を“より身近に” “より分かりやすく” 情報提供すること並びに職業選択の一助となるようコンテンツを設けております。

ご参考までにこちらをご紹介させていただきます。

①HP「建設現場へGO!」

建設産業に関するコンテンツやイベントを検索&閲覧できます！

<https://genba-go.jp/>



②「建設産業ガイドブック」

建設産業の役割や各工事業の仕事について、写真やイラストを用いて紹介しています！

<https://genba-go.jp/download/>



③「18歳のハローワーク」

工事の流れを工程ごとに解説し、建設産業で働く職人へのインタビューも掲載しています！

<https://genba-go.jp/18hellow/>



(2) 建設業振興基金の機関紙のご紹介

●「建設業しんこう」Web

“建設産業の今を伝え未来を考える”をコンセプトに、国民と建設産業をつなぐ広報ツールとして、建設産業の魅力やインフラの重要性等をわかりやすく伝えることを心がけ発行しております。

<https://www.shinko-web.jp/>



建設産業人材確保・育成推進協議会

事務局：一般財団法人建設業振興基金

コンテンツのご紹介



建設産業へ就職を目指す皆さん！

建設産業の仕事を学ぶことができる
就職支援コンテンツを知っていますか？

「見て」・「知って」・「将来」の自分をイメージ！

「18歳のハローワーク」

「18歳のハローワーク」は、建設産業の仕事を知ってもらうことを目的とした就職支援コンテンツです ★

ポイント①

建物ができるまでの工程（着工～完成まで）や、
建設現場で働く職人の仕事を学べます！

ポイント②

建設産業で働く12職種36名の先輩方の
インタビュー記事を読覧できます！



↓リンクはこちら



詳細については裏面をご覧ください



ポイント①

工事の工程／職人の仕事を学べます！

工事の流れに沿って、建設産業の仕事を紹介しています！各工程の項目をクリックすると、詳しい**仕事内容**や、現場の**写真**を閲覧することができます！

工事の流れで
学ぶ！

仕事
が
分かる！



写真が
盛り沢山！

ポイント②

先輩インタビューが見れる！

若手～ベテランの方まで、**36名のインタビュー記事**を閲覧できます！建設産業に入職したきっかけや仕事内容、今後の目標など、先輩の声を多数掲載！

とび・土工・コンクリート (とび)
とび・どぼく・こんくりーと (とび)

建設工事の現場で、高所での作業を専門とするのが、とび（とび職）です。作業の種類などによって、足場とび、重量とび、鉄骨とびなどに分けられることもあります。中でも、足場とびは建築現場に必要な足場などを設置する仕事で、危険な高所を自由に動き回る事から、建築現場の職人の間で「現場の華」とも称されています。

入職6年目
高所で、しかも外気にさらされた場所での作業。完成した姿を眺めると、そんな苦労も吹き飛びます。

入職9年目
さらに経験を重ね、スキルを磨いて職員として活躍中。いろいろな現場で活躍しています。

入職13年目
高層ビルの現場は、とびの職人抜きには始まらない。作業の足場を設置する重要な役どころです。

入職26年目
新しい仕事に挑戦してほしいと会社に誘われ、これまで経験や知識、ノウハウを身に付けてきました。

職種ごとに先輩の声が
閲覧できます！

とび・土工・コンクリート 工事(とび)

建設工事の現場で、高所での作業を専門とするのが、とび（とび職）です。作業の種類などによって、足場とび、重量とび、鉄骨とびなどに分けられることもあります。中でも、足場とびは建築現場に必要な足場などを設置する仕事で、危険な高所を自由に動き回る事から、建築現場の職人の間で「現場の華」とも称されています。

小林 佑哉 入職9年目

(株)深谷組 (埼玉県)



人材協定期便はメールでの受け取りが可能です！

年3回お届け予定
(各学期)



人材協定期便



情報共有が容易に！



人材協定期便のメール受け取りをご希望される方は、下記項目をメールにてご送信下さい。

- ✓ 学校名
- ✓ メールアドレス
※組織の代表アドレスをご記載下さい※
(例："進路指導室" < . . . @.co.jp >)
- ✓ 担当者名
- ✓ 電話番号

送信先メールアドレス

jinzai@kensetsu-kikin.or.jp